

森林経営管理制度円滑化対策研修

森林経営管理制度円滑化対策研修

I. 森林経営管理制度円滑化対策研修の目的

本研修は、「令和2年市町村支援技術者養成事業委託事業」において行われる研修事業のうちのひとつである。事業の目的は、市町村が森林経営管理制度を円滑に運用できるよう、適切な指導・助言等を行う都道府県職員等の技術者を養成することである。

II. 研修カリキュラムの構築

1. カリキュラム構築にあたっての考え方

ア 基本的な考え方

本研修は平成31年4月に施行された「森林経営管理法」に基づく森林経営管理制度の円滑な運用を図るため、市町村の森林・林業担当者に対し適切な指導・助言等ができる都道府県等の技術者の養成を目的として実施されるものであった。

制度への取組も2年目となり、全国各地で地域特性を活かした本制度の推進に向けた様々な取組が進められている。地域によって様々な課題が整理され、その課題解決に向けた多くの試行錯誤が行われている。そうした先行する市町村のノウハウ等を学びながら、制度の導入にあたって、適切な運用方法を検討し、市町村に対して指導・助言等ができるよう、特に応用力を養うことを主たる目的としてカリキュラムの作成を行った。

イ 研修内容の検討

森林経営管理制度の運用を円滑に進めるために、上記の基本的な考え方も念頭に、研修においてどのような内容を理解させることが効果的かの検討を行った。

研修全体の流れとしては、まず、基本的なものとして、①森林経営管理制度そのものに係る理解をさらに深めること、その上で、②現状における他の市町村の取組に対する理解を通じて、研修生自身の今後の対応にあたっての応用力の強化を図ることとした。

さらに制度における個別の手続きに関する理解を深めることが必要との観点から、③市町村が再委託を行う民間事業者を選定する上で必要となる、優れた民間事業者についての理解の促進と、④「経営管理権集積計画」の模範的作成を通じた基本の理解と疑問点の解消、⑤「市町村森林経営管理事業」を実施する上で必要となる適切な森林施業に対する理解の促進を図ることとした。④については発表、質問、意見交換などの手法を用いることにより応用力を養うこととした。

そして、研修生が市町村に対して効果的な支援・指導を行えるようになるためとの観点から、⑥制度の実施主体である市町村の制度に対する考え方や抱える課題に対する理解の促進を図ることとした。詳細については以下のとおりである。

① 森林経営管理制度そのものに係る理解の促進

森林経営管理制度については、これまで林野庁が各都道府県において制度に関する説明会を開催していることや林野庁が「森林経営管理制度に係る事務の手引」（令和2年12月24日付け最終改正）を作成していることから、研修生は制度の概要については一定の理解をしていると思われるが、この制度が創設された背景や制度の目的を十分理解することで市町村支援にあたって応

用の幅を広げること、また、制度の要となる市町村が作成する「経営管理権集積計画」のポイントや作成手順などについて、理解を深め、これまでの疑問を解消するため、研修項目「森林経営管理制度の概要と現状」及び「経営管理権集積計画の作成」を行う。

② 他の都道府県や市町村の取組に対する理解と今後の対応における応用力の強化

研修生の属する都道府県内の任意の市町村の意向調査実施（予定）状況を調べて、その結果を意向調査の事例として提出し、研修生が相互に発表・紹介を行い、それに対して質問や意見交換を行うことで、他都道府県等の市町村の意向調査の取組の詳細や背景、課題についての理解を促すとともに、これらを通じて研修生が自らの地域への応用を考えることなどより、今後の市町村支援における応用力を養うため、研修項目「経営管理権集積計画の作成」（講義と事前課題「意向調査の実施状況」についての研修生からの発表、意見交換）を行う。

③ 市町村が再委託を行う民間事業者を選定する上で必要となる、優れた民間事業者についての理解の促進

森林経営管理制度では、市町村は森林所有者から管理経営の委託を受けた森林のうち、林業経営に適した森林については民間事業者に再委託をすることができるが、この民間事業者について、法律（第36条第2項）では、①経営管理を効率的かつ安定的に行う能力を有すると認められること、②経営管理を確実に行うに足る経理的な基礎を有すると認められることの2つの要件に適合することが必要とされている。

また、その基準については「森林経営管理法の運用について」（平成30年12月21日付け林野庁長官通知）においてその考えが示されている。

このような基準を満たす優良な民間事業者の経営や事業実行に対する考え方を知り、その特徴を把握した上で、今後の再委託等の事務に取り組むことが可能となるよう、研修項目「制度運用のための優良民間事業者との意見交換」を行う。

④「経営管理権集積計画」の模擬的作成を通じた基本の理解と疑問点の解消

「経営管理権集積計画」とは、市町村が所有者に代わって森林の経営管理を行うことが必要かつ適当と認める場合に、当該森林の経営管理を行う権利を市町村が取得するために定める計画である。

「経営管理権集積計画」の模擬的作成を事前課題として研修生に課し、計画作成プロセスの体験を通じて疑問点等を明らかにし、研修においてこれらの疑問点を解消することなどにより、計画の概要や作成手順の理解を促進させるため、研修項目「経営管理権集積計画演習」を行う。

⑤「市町村森林経営管理事業」を実施する上で必要となる適切な森林施業に対する理解

経営管理権集積計画により市町村が森林所有者から委託を受けた森林は、林業経営が成り立つかどうかにより、①民間事業者に再委託されるものと、②市町村自らが管理するものとに区分される。

このうち、市町村自らが管理経営を行う際に実施する「市町村森林経営管理事業」について法律では、「事業の対象となる森林の状況を踏まえて、複層林化その他の方法により、その森林について経営管理を行うものとする」（第33条第2項）とされている。

このため、複層林化を含めた森林づくりの考え方や手法についての理解を促進するため、研修項目「市町村森林経営管理事業のための森林施業」を行う。

⑥制度の実施主体である市町村の制度に対する考え方や抱える課題に対する理解の促進

都道府県職員が市町村に対して支援・指導をする際に、市町村が森林経営管理制度に対してどのような考えを持っているか、何を課題と考えているかなどについて理解していることは、支援・指導を円滑に行う上でも重要である。このため、本制度に対して先進的あるいは積極的に対応している市町村からの事例紹介を通じて、市町村の考え方等を理解するため、研修項目「先進市町村の取組事例」を行う。

ウ 研修効果を高める研修手法の採用

研修生間での発表（報告）や意見交換、林野庁からのコメントやアドバイスなどを受けることを通じて応用力を養うこととし、研修方法は講師から講義を受ける方法のみならず、研修生に事前に課した、事前課題1「森林経営管理制度に対する質問」、事前課題2「意向調査の実施状況」、事前課題3「模擬的 経営管理権集積計画の作成」などを研修資料として活用し、研修生による発表（報告）や意見交換等が活発に行われる方法を採用した。

また、発表（報告）や意見交換において、研修生の積極的な参加を可能とするよう、進行役（コーディネーター）が研修生の積極的参加を促すよう運営に努めた。

このような方法を採用することで、他の研修生や林野庁に対する質問や意見交換を通じて、森林経営管理制度への理解を深めることができるとともに、他の都道府県や市町村での経営管理制度についての取組状況や抱える課題、そして対応などについても知ることができ、研修生それぞれが今後直面する課題等に対応するための貴重な知見となり応用力を広げることができると考えられた。

2. カリキュラムと個別研修項目の内容

研修期間は研修生の業務を念頭に比較的参加が容易と考えられる3日間（実質の研修期間2日間）とし、上記1. イの研修内容の考え方を踏まえ、3日間の研修の研修項目のねらい、概要及び進め方については以下を基本とした。なお、研修項目の割当時間については、ブロックによって若干異なるため、本研修第1回目の北海道・東北ブロックのカリキュラムに基づいて紹介する。

1日目午後

【講義】「森林経営管理制度の概要と現状」(13:10～14:30)

ねらい：森林経営管理制度の意義や概要、制度に関連する都道府県や市町村の対応についての理解を深めること目的とする。

研修概要：教材に基づき説明した後、事前課題1である「森林経営管理制度に対する質問等」のうち、制度全般に関する質問への回答や意見交換を行いながら講義を進める。また、都道府県や市町村の対応について、全国的な動向や特徴のある事例を紹介する。

進め方：研修にあたって、これまでの林野庁の説明会などで十分理解できなかった点などをクリアにしてもらうため、予め研修生から事前課題（1）「森林経営管理制度に対する質問等」を提出してもらい、この点にも触れながら講義を行う。さらに、制度の取組が全国的にどのような状況であるのか、特徴のある市町村の事例等についても紹介する。

【講義・意見交換】「経営管理権集積計画の作成」(14:45～16:30)

ねらい：意向調査の実施から経営管理権集積計画の作成までの基本的な流れや集積計画に記載す

べき内容を理解する。

研修概要：集積計画の標準的な作成方法等についての説明のほか、事前課題1のうち、経営管理権集積計画に関する質問への回答や意見交換を行いながら講義を進める。

さらに、事前課題「意向調査の実施状況」についての受講生からの発表について意見交換を行う。

進め方：事前課題2の提出資料「意向調査の実施状況」により、次について研修生が発表する。研修生が所属する都道府県内の任意の市町村の意向調査実施（予定）状況、基本的な考え方、進め方、進捗状況等、都道府県や支援組織の支援状況、取組の課題、受講生や林野庁と意見交換したい事項等。発表者の選定は、当該ブロックの研修に参加した都道府県のバランス等も考慮する。

それらの発表に対して、他都道府県の研修生からの質問や意見交換を行ってもらおう。また、適宜林野庁からコメント等をもろう。

2日目午前

【講義・意見交換】「制度運用のための優良民間事業者との意見交換」(9:15~10:55)

ねらい：都道府県は、経営管理実施権の設定を希望する民間事業者を公募・公表することとなっており、この際、市町村は都道府県が公表するにふさわしい者を推薦することができることとなっている。また、市町村は経営管理実施権配分計画を定める場合、都道府県が公表した民間事業者の中から、経営管理実施権を設定する民間事業者を選定することとなっている。

このため、優れた民間事業者の経営姿勢や現場の活動などの特徴を理解することで、民間事業者の選定等に係る判断や育成方法の検討に必要な能力を養う。

研修概要：優れた民間事業者の活動や取組について、民間事業者から説明を受け、質疑や意見交換を行い、その特徴をまとめる。

進め方：民間事業者からの説明を受けて、意見交換等を行い、研修生は優良な民間事業者の特徴のポイントを整理する。これに対して民間事業者から正しく特徴を捉えているかどうかの観点でコメントをもろう。

【講義・意見交換】「先進市町村の取組事例」(11:10~12:10)

ねらい：森林経営管理制度の実施主体である市町村がどのような考えで制度に対する取組を行い、どのような課題を有しているかについて理解を深める。

研修概要：積極的に取り組んでいる（取り組もうとしている）市町村等から取組内容や課題についての説明を受け、質問や意見交換を行う。

進め方：市町村による説明終了後に、質問及び意見交換の時間を十分に確保する。

2日目午後

【演習】「経営管理権集積計画演習」(13:00~16:45)

ねらい：事前課題3で作成した模擬的「経営管理権集積計画」の発表と林野庁からのコメント、受講生間の意見交換等を通じて、計画を作成するにあたっての対象森林の考え方、経営管理の内容の検討等について、様々な視点から考えられる力を身に付けてもらう。

研修概要：受講生が事前課題3で作成した模擬的「経営管理権集積計画」について、作成にあたって生じた疑問点や課題なども含めて発表を行った後、これに対する質疑や意見交換を行いながら演習を進める。

進め方：研修生より提出のあった模擬的な経営管理権集積計画について、各県少なくとも1名の研修生に発表してもらおう。発表にあたっては事前課題3の模擬的「経営管理権集積計画」により作成した、基本編2課題（「集積計画の本文（個別事項、共通事項、別添）」「集積計画対象森林を明らかにする図面」と応用編により説明してもらおう。

発表に対して他の研修生から、例えば、自分が作成にあたって困難と思ったことを発表者がどのようにクリアしたかなどの質問等をしてもらい、計画の作成方法について理解を深めてもらう。また、研修生の発表、質問等に対して、必要に応じて林野庁からコメントをもらう。最後に、林野庁で検討した団地A及び団地Bの集積計画の作成例について解説する。

3日目午前

【講義】「市町村森林経営管理事業のための森林施業」(9:15～10:45)

ねらい：市町村森林経営管理事業に関連し、森林づくり全般に対する考え方について最新の知見により理解を深める。

研修概要：針広混交林化等に向け、自然的条件等の状況に応じた施業方法を選択できるように、森林づくり全般に関する講義を行う。

進め方：講義終了に質問時間を十分に確保する。

【講義】「経営管理権集積計画の作成等に係る留意事項」(10:55～11:55)

ねらい：集積計画の作成等を行うにあたって、特に留意すべきポイントについて、習得してもらい、「経営管理権集積計画演習」を通して身に付けてもらった知見とあわせ、今後、市町村等に対して適切に指導・助言できる能力を習得してもらう。

研修概要：集積計画の実例も交えながら、計画の作成等に当たって留意すべき事項等について講義を行う。

進め方：研修全体を通じての質問等を受ける。

Ⅲ. 研修の実施方法

1. 運営体制

別図のとおり研修運営を行った。

2. 研修の開催県

研修を開催した都道府県は次のとおり。()内は受講対象とする主な都道府県を割り振ったが、他のブロックへの参加も可能とした。

(1) 北海道・東北ブロック 開催県：宮城県（北海道、青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県）

(2) 関東ブロック 開催県：栃木県（東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県、群馬県、栃木県、茨城県、新潟県）

(3) 中部・近畿①ブロック 開催県：石川県 中部（長野県、富山県、石川県、福井県）、近畿（滋賀県、京都府、大阪府）

(4) 中部・近畿②ブロック 開催県：静岡県 中部（愛知県、岐阜県、静岡県、山梨県）、近畿（三重県、奈良県、和歌山県）

(5) 西日本ブロック 開催県：鳥取県 中国（岡山県、広島県、山口県、島根県、鳥取県）、近畿（兵庫県）

(6) 四国ブロック 開催県：高知県 四国（徳島県、香川県、愛媛県、高知県）

(7) 九州ブロック 開催県：鹿児島県 九州（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県）

3. 研修の準備

①研修開催県との打合せ内容

- ・推薦いただいた外部講師（制度に先進的に取り組む市町村）の確認
- ・外部講師（優良民間事業者）の選定
- ・研修日程の確認
- ・研修会場の確認
 - *基本的に県庁所在地等の主要都市で、駅からのアクセスが容易な会場を選定。
- ・都道府県独自のコロナウィルス感染対策防止の確認

②各ブロックの打合せ内容

研修の実施に際し、諸準備を行うことを目的に、研修を実施した7県に研修運営をサポートするブロック事務局を設置した。各ブロック事務局との打合せ内容は次のとおり。

- ・研修会場の選定・確認
 - *コロナウィルス感染対策防止の対応として、募集人員の2倍以上の収容人員の会場を確保。
- ・必要な機材や課題等を確認
- ・受講生の座席位置の検討等
- ・役割分担、研修の流れの確認
- ・県庁への情報提供と協力依頼

- ・研修開催時の基本的なコロナウイルス感染防止策の共有

4. 受講生への連絡

○受講案内

各都道府県の受講生と研修窓口（森林経営管理制度）に向けて、ブロックごとに研修の案内の第一報「受講の手引き」とともに事前課題の作成要領等を送付した。

- ・受講の手引き
- ・研修の概要
- ・カリキュラム
- ・事前課題について（受講生に研修前に作成・提出いただく資料）
- ・模範的「経営管理権集積計画」の作成要領
- ・受講生名簿（各ブロックごと）
- ・コロナウイルス感染防止対策について（共通）
- ・体温・体調等記録用紙（共通）

○問い合わせ先

研修会場等、研修運営についての問い合わせ先は、各ブロック事務局とし、研修内容、事前課題内容についての問い合わせ先は、事務局・全国林業改良普及協会とした。

5. 事前課題の受取

受講生からの事前課題の受け取りは各ブロック事務局が行い、事前課題の締め切り日を目途に未提出者に督促を行った。ブロック事務局は取りまとめた事前課題を事務局・全国林業改良普及協会へ送付した。事務局では課題内容を確認し、内容に不足があった場合には各受講生に直接連絡して対応を行った。おおよその事前課題を事務局が受け取った段階で、林野庁と課題の共有を行った。

6. 新型コロナウイルス感染対策

令和2年度の研修実施にあたって、いわゆるコロナ禍の中でこれまでどおりの集合形式での研修が実施できるかどうか危ぶまれた。

本研修は、講師の講義のみによるものではなく、受講生との意見交換、受講生の課題発表など、受講生とともに作り上げる研修であり、このような研修方法により研修効果を高めることとしていたことから、集合形式での研修が困難となれば、十分な研修効果が得られないことが心配されたところである。

しかしながら、7ブロックでの研修が9～11月の実施となり、コロナウイルスの感染が小康状態にあった時期であったことから、国が示すコロナ禍でのイベント実施の方法等を十分に踏まえ、研修会場においては、体温計、アルコールなどの消毒薬を準備するほか、講師と受講生の間にはアクリル板を設置し、講師等にはフェイスガードを着用していただくなどの措置を講じるとともに、受講生に対しても研修開始の2週間前から検温を行うように指示し、研修期間中も研修開始時には事務局で検温を行い、それらを記録用紙に記録させるとともに、研修中において体調不良となった場合には研修参加を中止してもらい旨予め伝えるなどの対応を行い、研修生自身が十分なコロナ対策を行うように促したところである。

なお、検温記録は事務局で保管し、その後の万が一に備えたところである。

このような対応の下、研修においてコロナ感染が発生することはなく、無事に研修を実施することができた。

これらの対応に関しての資料は、事前に林野庁と行った考え方の整理（参考資料 1-5）、研修生に対する指示事項（参考資料 1-6、参考資料 1-7）である。

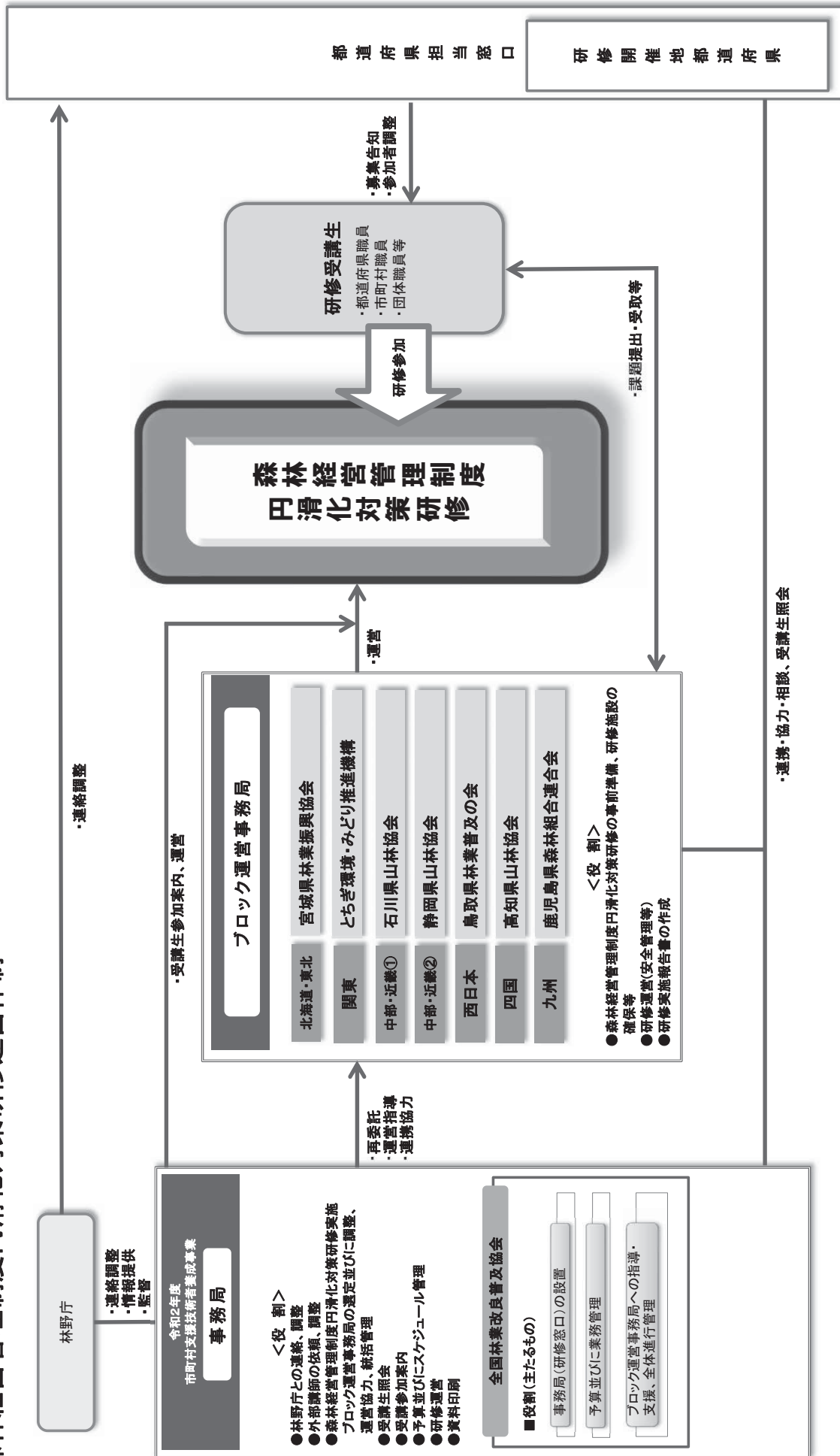
7. 研修実施に当たっての事前調整

研修の目的や構成、講師に依頼する講義の研修における位置づけなどが適切に伝わっていない場合、講師の人選、講義の内容が十分研修の目的に沿ったものとならないことがある。

このため、関係者には複数回連絡をとるなどして、これらについて説明を行ってきた。今回の研修においてもこれまでどおりそのような対応をとり、講師には十分理解されていたと考えていたが、直前になって提出された資料を確認したところ、十分な理解が得られていないことが判明し、急遽具体的な修正依頼を行った事例があった。

講師の理解が得られたかどうかは提出された資料により初めて確認ができるが、講師の事情もあり、十分な時間をもって資料を提出していただくことができないこともある。そのため、その後は過去の講義の資料を送るなどして、ポイントとなるところを説明して理解を得ることとした。また、このような調整を含め事前調整には、森林経営管理制度に関する一定の知識と林業に関する知識が必要とされたところである。

1. 森林経営管理制度円滑化対策研修運営体制



IV. 研修実施結果

1. 研修の実施概要

(1) 研修実施場所・研修日程

研修は全国7ブロック（北海道・東北、関東、中部・近畿①、中部・近畿②、西日本、四国、九州）において9月から11月にかけて実施した。

ブロック名	日程	研修会場	
		施設名	所在地
北海道・東北	9月16日 ～18日	仙都会館	宮城県仙台市青葉区中央 2-2-10
関東	11月24日 ～26日	地方職員共済組合栃木県職員 会館 ニューみくら	栃木県宇都宮市昭和 1 丁目 3 番 6 号
中部・近畿①	10月27日 ～29日	金沢勤労者プラザ	石川県金沢市北安江 3-2-20
中部・近畿②	10月20日 ～22日	<1～2日目> 静岡県男女共同参画センター あざれあ	静岡県静岡市駿河区馬淵 1 丁目 17 番 1 号
		<3日目> レイアップ御幸町ビル	静岡県静岡市葵区御幸町 11-8
西日本	10月6日 ～8日	鳥取市民交流センター	鳥取県鳥取市幸町 71
四国	9月28日 ～30日	高知市町村職員共済会館	高知県高知市本町 5 丁目 3-20
九州	11月10日 ～12日	宝山ホール (鹿児島県文化センター)	鹿児島県鹿児島市山下町 5-3

(2)カリキュラム例

ブロックによって、会場の利用時間が若干異なったため、ブロックごとの研修開始・終了時間は30分程度前後した。次に示すのは、令和2年度の本研修第1回目の北海道・東北ブロックのカリキュラム例である。

森林経営管理制度円滑化対策研修（北海道・東北ブロック）カリキュラム										休憩マーク			
		9:10	10:00	11:00	12:00	12:45	14:00	15:00	16:00	～17:00			
9月16日 (水) 1日目		会場の利用時間9:00～17:00のため、9時から10分間準備、9:10に研修開始とする				開講式・オリエンテーション(25分) 12:45～	事務局	【講義】森林経営管理制度の概要と現状(80分) 13:10～14:30	林野庁	【講義・意見交換】経営管理権集積計画の作成*事前課題「意向調査の実施状況」の発表・意見交換を含む(105分) 14:45～16:30	林野庁 受講生からの発表	ふりかえり(20分)	事務連絡(10分)
		休憩(15分)					休憩(15分)						
9月17日 (木) 2日目	日程説明等(5分)	【講義・意見交換】制度運用のための優良民間事業者との意見交換(100分) 9:15～10:55	【講義・意見交換】先進市町村の取組事例(60分) 11:10～12:10		昼食(50分)	【演習】経営管理権集積計画演習(前半)(105分) 13:00～14:45		【演習】経営管理権集積計画演習(後半)(105分) 15:00～16:45		ふりかえり(10分)	事務連絡(5分)		
		林業事業者の担当者	市町村の担当者			受講生からの発表 アドバイス：林野庁		受講生からの発表 アドバイス：林野庁					
休憩(10分)													
9月18日 (金) 3日目	日程説明等(5分)	【講義】市町村森林経営管理事業のための森林施業(90分) 9:15～10:45	【講義】経営管理権集積計画の作成・実施等に係る留意事項(60分) 10:55～11:55	総括(20分) 11:55～12:15	ふりかえり(20分)	閉講(5分) ～12:40終了							
		森林総研	林野庁	林野庁									
※各講義や演習における()は予定時間であり、変更となる可能性があります。													
※開始・終了時刻は、会場の利用条件等により変更となる可能性があります。													

(3) 研修講師

北海道・東北ブロック

講義・演習名	講師等	所属
【講義】森林経営管理制度の概要と現状	三間知也	林野庁森林利用課森林集積推進室
【講義・意見交換】経営管理権集積計画の作成	三間知也	林野庁森林利用課森林集積推進室
【講義・意見交換】制度運用のための優良民間事業者との意見交換	佐藤太一	株式会社 佐久
【講義・意見交換】先進市町村の取組事例	千葉哲彦	登米市 農林振興課
【演習】経営管理権集積計画演習	室木直樹	林野庁森林利用課森林集積推進室
【講義】市町村森林経営管理事業のための森林施業	佐藤 保	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所
【講義】経営管理権集積計画の作成・実施等に係る留意事項	室木直樹	森林利用課 森林集積推進室

関東ブロック

講義・演習名	講師等	所属
【講義】森林経営管理制度の概要と現状	山口雄大	林野庁森林利用課森林集積推進室
【講義・意見交換】経営管理権集積計画の作成	室木直樹	林野庁森林利用課森林集積推進室
【講義・意見交換】制度運用のための優良民間事業者との意見交換	高瀬洋之	たかはら森林組合
【講義・意見交換】先進市町村の取組事例	斎藤敦子	矢板市農林課
【演習】経営管理権集積計画演習	室木直樹	林野庁森林利用課森林集積推進室
【講義】市町村森林経営管理事業のための森林施業	佐藤 保	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所
【講義】経営管理権集積計画の作成・実施等に係る留意事項	室木直樹	森林利用課 森林集積推進室

中部・近畿①ブロック

講義・演習名	講師等	所属
【講義】森林経営管理制度の概要と現状	安高志穂	林野庁森林利用課森林集積推進室
【講義・意見交換】経営管理権集積計画の作成	大石貴久	林野庁森林利用課森林集積推進室

【講義・意見交換】制度運用のための優良民間事業者との意見交換	片山健二	かが森林組合
【講義・意見交換】先進市町村の取組事例	井海之傑 (代理 間明弘光)	白山市林業水産課 (石川県林業公社 林業アドバイザー)
【演習】経営管理権集積計画演習	室木直樹	林野庁森林利用課森林集積推進室
【講義】市町村森林経営管理事業のための森林施業	佐藤 保	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所
【講義】経営管理権集積計画の作成・実施等に係る留意事項	室木直樹	森林利用課 森林集積推進室

中部・近畿②ブロック

講義・演習名	講師等	所属
【講義】森林経営管理制度の概要と現状	三間知也	林野庁森林利用課森林集積推進室
【講義・意見交換】経営管理権集積計画の作成	三間知也	林野庁森林利用課森林集積推進室
【講義・意見交換】制度運用のための優良民間事業者との意見交換	望月貴治	株式会社 白糸植物園
【講義・意見交換】先進市町村の取組事例	渡邊直樹	富士市林政課
【演習】経営管理権集積計画演習	山口雄大	林野庁森林利用課森林集積推進室
【講義】市町村森林経営管理事業のための森林施業	佐藤 保	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所
【講義】経営管理権集積計画の作成・実施等に係る留意事項	三間知也	森林利用課 森林集積推進室

西日本ブロック

講義・演習名	講師等	所属
【講義】森林経営管理制度の概要と現状	三間知也	林野庁森林利用課森林集積推進室
【講義・意見交換】経営管理権集積計画の作成	三間知也	林野庁森林利用課森林集積推進室
【講義・意見交換】制度運用のための優良民間事業者との意見交換	嶋沢和幸	鳥取県東部森林組合
【講義・意見交換】先進市町村の取組事例	下石直生 東 勇太	鳥取市林務水産課 八頭町役場産業観光課
【演習】経営管理権集積計画演習	三間知也	林野庁森林利用課森林集積推進室

【講義】市町村森林経営管理事業のための森林施業	佐藤 保	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所
【講義】経営管理権集積計画の作成・実施等に係る留意事項	三間知也	森林利用課 森林集積推進室

四国ブロック

講義・演習名	講師等	所属
【講義】森林経営管理制度の概要と現状	室木直樹	林野庁森林利用課森林集積推進室
【講義・意見交換】経営管理権集積計画の作成	室木直樹	林野庁森林利用課森林集積推進室
【講義・意見交換】制度運用のための優良民間事業者との意見交換	宮本昌博	中村市森林組合
【講義・意見交換】先進市町村の取組事例	室町爽子	四万十市農林水産課
【演習】経営管理権集積計画演習	室木直樹	林野庁森林利用課森林集積推進室
【講義】市町村森林経営管理事業のための森林施業	佐藤 保	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所
【講義】経営管理権集積計画の作成・実施等に係る留意事項	室木直樹	森林利用課 森林集積推進室

九州ブロック

講義・演習名	講師等	所属
【講義】森林経営管理制度の概要と現状	三間知也	林野庁森林利用課森林集積推進室
【講義・意見交換】経営管理権集積計画の作成	三間知也	林野庁森林利用課森林集積推進室
【講義・意見交換】制度運用のための優良民間事業者との意見交換	田中佑樹	有限会社 田中林業
【講義・意見交換】先進市町村の取組事例	山中敏博 坂元成康 山之口 猛	鹿児島市農林水産部生産流通課 鹿児島県森林組合連合会 森林経営管理市町村サポートセンター (鹿児島県森林組合連合会)
【演習】経営管理権集積計画演習	山口雄大	林野庁森林利用課森林集積推進室
【講義】市町村森林経営管理事業のための森林施業	佐藤 保	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所
【講義】経営管理権集積計画の作成・実施等に係る留意事項	三間知也	森林利用課 森林集積推進室

(4) 研修受講者

ブロック	都道府県名	都道府県別受講者内訳					ブロック別受講者内訳				
		計	都道府県	市町村	団体	国有林	計	都道府県	市町村	団体	国有林
北海道 東北	北海道	5	5				24	14	8	2	0
	青森県	5	2	1	2						
	岩手県	1	1								
	宮城県	4	3	1							
	秋田県	0									
	山形県	3	1	2							
	福島県	6	2	4							
	福島県	3	1	2							
関東	茨城県	0				13	4	8	1	0	
	栃木県	7	1	6							
	群馬県	1	1								
	埼玉県	0									
	千葉県	1	1								
	東京都	0									
	神奈川県	1			1						
	山梨県	0									
	新潟県	1		1							20
富山県	2	2									
石川県	12	6	3	3							
福井県	0										
長野県	0										
愛知県	0										
三重県	0										
滋賀県	1	1									
京都府	1	1									
大阪府	1	1									
和歌山県	1	1									
国有林	1				1						
中部近畿②	山梨県	1	1			20	4	10	6	0	
	静岡県	14	2	7	5						
	愛知県	1	1								
	京都府	1		1							
	和歌山県	3		2	1						
西日本	京都府	1	1			19	9	6	3	1	
	兵庫県	6	2	3	1						
	鳥取県	10	5	3	2						
	島根県	0									
	岡山県	0									
	広島県	0									
	山口県	0									
	愛媛県	1	1								
	国有林	1									1
四国	山口県	1	1			22	13	5	4	0	
	徳島県	0									
	香川県	0									
	愛媛県	9	3	2	4						
	高知県	12	9	3							
九州	福岡県	1	1			14	7	5	2	0	
	佐賀県	1		1							
	長崎県	2	2								
	熊本県	1	1								
	大分県	1			1						
	宮崎県	2		1	1						
	鹿児島県	6	3	3							
	沖縄県	0									
合計		132	63	46	21	2	132	63	46	21	2

(5) 研修受講者の年齢構成、男女比

① 年齢構成

年齢構成の表からは、全受講生 132 名のうち、名簿に年齢の記録がない（スポット参加）の 19 名については除いている。

表 受講生の所属ごとの参加者数

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計
全受講生		1	16	27	41	18	9	1	113
所属	都道府県		5	10	23	16	3		57
	市町村	1	9	13	16	2	2		43
	団体		2	4	2		4	1	13

(単位:人)

表 受講生の所属ごとの年代別割合

(各属性を 100%としたときの割合)

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
全受講生		0.9	14.2	23.9	36.3	15.9	8.0	0.9
属性	都道府県	0.0	8.8	17.5	40.4	28.1	5.3	0.0
	市町村	2.3	20.9	30.2	37.2	4.7	4.7	0.0
	団体	0.0	15.4	30.8	15.4	0.0	30.8	7.7

(単位:%)

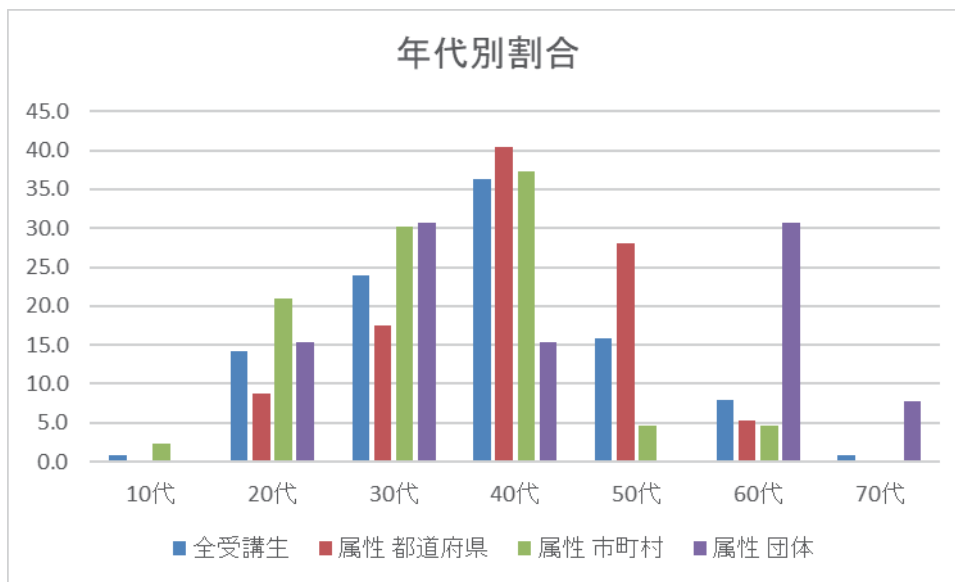


図 受講生の属性ごとの年代別割合 (各属性を 100%としたときの割合)

② 男女比

	総数	男性	女性
人数(人)	132	112	20
比率(%)	100	84.8	15.2

V. 森林経営管理制度円滑化対策研修の実施状況

森林経営管理制度円滑化対策研修の実施状況を共有する資料として、各ブロックでの研修の概要をまとめた「実施報告書」、受講生のアンケートを集計した「アンケート結果」を作成した。

研修の実施状況を記録写真（北海道・東北ブロック）によって、以下に紹介する。

		
<p>研修会場全景：1日目</p>	<p>森林経営管理制度の概要と現状：1日目</p>	<p>事例発表の流れ説明：1日目</p>
		
<p>制度運用のための優良民間事業者との意見交換（外部講師）：2日目</p>	<p>受講生からの事業者に対する経営姿勢や特徴などを集約：2日目</p>	<p>先進市町村の取組事例（外部講師）：2日目</p>
		
<p>経営管理権集積計画演習（事前課題発表）：2日目</p>	<p>市町村森林経営管理事業のための森林施業（外部講師）：3日目</p>	<p>経営管理権集積計画の作成等に係る留意事項：3日目</p>
		
<p>研修総括：3日目</p>	<p>受講風景1</p>	<p>受付時の検温（コロナウィルス感染対策）</p>

①森林経営管理制度円滑化対策研修 北海道・東北ブロック実施報告書

1 日程・研修場所 令和2年9月16日(水)～9月18日(金)
研修会場 仙都会館5階5A会議室(宮城県仙台市)

2 研修受講者数:24名 [男性:21名 女性:3名]
(道県職員14名、市町村職員8名、公益社団法人2名)

北海道	5名	青森県	5名	岩手県	1名	宮城県	4名
山形県	3名	福島県	6名				

途中欠席者数:1名

3 研修実施概要

○予定どおり全カリキュラムを修了

○研修運営状況、研修生の様子など

・初日、オリエンテーションと森林経営管理制度の概要と現状、経営管理権集積計画の作成。後者の講義では、北海道・青森・岩手・宮城・山形・福島各1名の計6名の受講生から事前課題の「意向調査の実施状況」について発表があったが、持ち時間が不足気味であった。

・2日目は、制度運用のための優良民間事業者との意見交換(南三陸町(佐久)におけるFSC認証を活用した取り組み/株式会社佐久)、先進市町村の取組事例(~大切な森林を次の世代へ~登米市の森林経営管理制度の取り組みについて/宮城県登米市)による講義が行われた。午後の経営管理権集積計画演習では、課題に対する理解度に温度差が感じられた。2、3日目は、受講生のうち1名が体調不良のため欠席(診察結果は熱中症)。

・3日目は、カリキュラムどおり、定刻どおりに終了。



2日目:制度運用のための優良民間事業者との意見交換



2日目先進市町村の取組事例

○今回の研修で工夫したこと

[工夫点]

・講師からの一方的な講義だけでなく受講生の発表の場の機会を設けるなど双方向による講義を工夫していた。事業者や自治体担当者による事例発表、現場(実践)主義の講義内容。

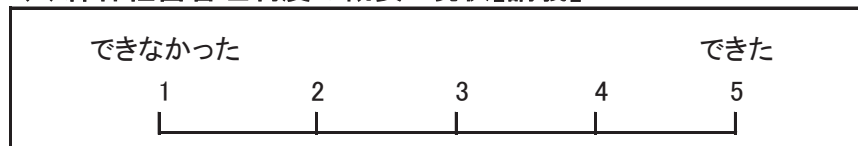
・コロナ禍での感染対策の措置。

森林管理円滑化対策研修(ブロック研修) 北海道東北ブロック アンケート集計結果

回収率： 21 名 / 24 名 (88%)

I 本研修のねらい・内容をそれぞれの程度理解できましたか？

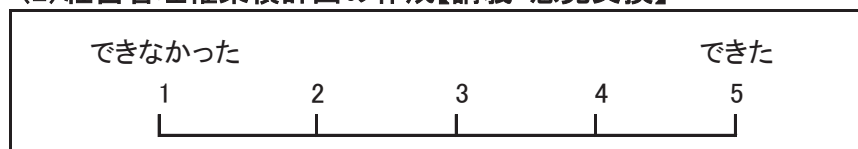
(1) 森林経営管理制度の概要と現状【講義】



平均： 4.2

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (0 名)
- 4 (16 名) 林野庁の担当者から直接話が聞け、ためになった／新しい情報も得られて良かった
- 5 (5 名) 内容のおさらいとコメントで理解を深めた／丁寧な説明だった

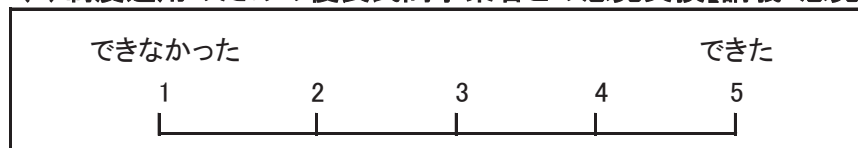
(2) 経営管理権集積計画の作成【講義・意見交換】



平均： 3.9

- 1 (0 名)
- 2 (1 名) 時間が足りなかった
- 3 (5 名) 意見、質問の時間は多く取ってほしい／取組課題や意見交換の項目が参考になった
- 4 (11 名) 今後の進め方に参考になった
- 5 (4 名) 他道県の取組状況や考え方など勉強になった

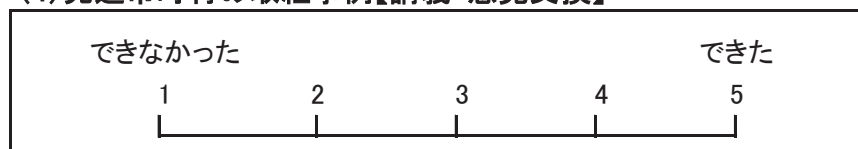
(3) 制度運用のための優良民間事業者との意見交換【講義・意見交換】



平均： 4.3

- 1 (0 名)
- 2 (1 名) 森林経営管理制度に関する取り組み内容がなく、今回の研修にはそぐわないと思った
- 3 (2 名) 意欲と能力のある事業者の取り組みを学べて良かった
- 4 (8 名) 地域に根差した林業事業者の話聞くことができ参考になった
- 5 (11 名) FSC®を基軸に地域発展に貢献している取組事例を聞いて大変参考になった

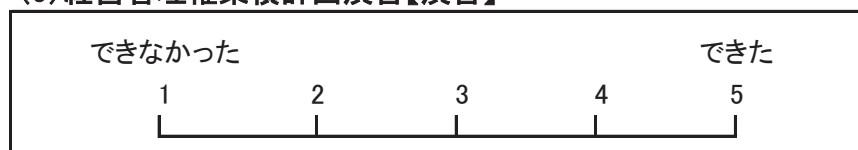
(4) 先進市町村の取組事例【講義・意見交換】



平均：4.2

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (2 名) 市への県のサポート体制がしっかりしていることに興味した
- 4 (14 名) 具体的な流れややり方の話を聞くことができ参考になった
- 5 (6 名) 意向調査をコンサルに委託した内容が参考になった

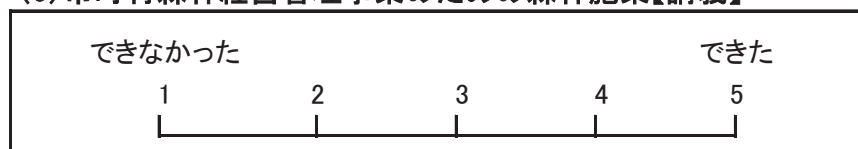
(5) 経営管理権集積計画演習【演習】



平均：3.8

- 1 (0 名)
- 2 (2 名) 勉強不足で分からない点が多く、引き続き勉強する必要性を強く感じた
- 3 (5 名) 他の方の作成例や林野庁の方の作成例で以前よりもイメージができるようになった
- 4 (11 名) 集積計画を考える、様々なヒントを得ることができた
- 5 (4 名) 集積計画作成の注意点を振り返ることができた

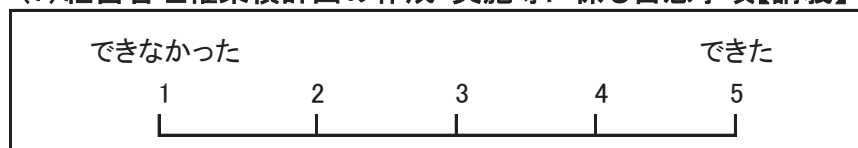
(6) 市町村森林経営管理事業のための森林施業【講義】



平均：4.2

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (2 名) 天然更新の認識不足が分かった
- 4 (14 名) 天然更新の難しさを知ることができた
- 5 (6 名) 天然更新を進めるポイントとして各種データを紹介して分かりやすい講義だった

(7) 経営管理権集積計画の作成・実施等に係る留意事項【講義】



平均：4.3

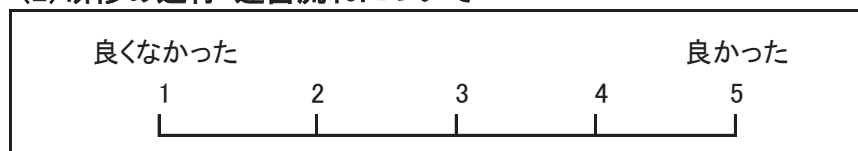
- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (1 名) 内容が盛りだくさんで覚えるのが大変だが、市町村に情報提供していきたい
- 4 (13 名) 重要なポイントが聞けた／所有権界と筆界の違いについて理解した
- 5 (6 名) 法律改正のポイント、国土地理院の内容が理解できた／理解度が増した

IV 研修の進行・運営、研修設備等に関する評価

(1) 研修に係る事務局からの事前連絡等は十分できていましたか？

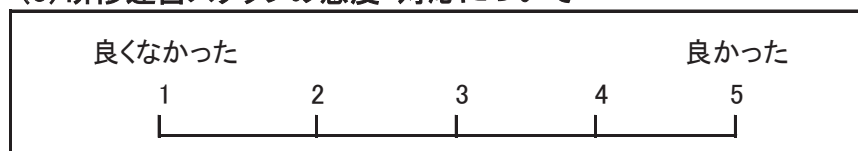
- 1：できていた（20名）
2：できていない（1名） 課題を提出した時に届いた旨の確認メールが欲しかった

(2) 研修の進行・運営流れについて



- 1（1名） 段取りが悪い
2（0名）
3（4名） パワーポイントの色、大きさをもっと大きく見えるものにした方が良かった
4（11名） 新しい生活様式での研修の進行は問題なかった
5（5名） スムーズで良かった

(3) 研修運営スタッフの態度・対応について



- 1（1名） 運営が研修に集中していない場面があった。今後のブロックでは改善してほしい
2（0名）
3（2名）
4（3名） 良かった
5（15名） 丁寧な対応、同じ目線で対応していただいた

(4) 今後、どのようなサポートや研修等があったら良いとお考えですか？

- ・ 今後地域の市町村へ支援するため資料提供を願う
- ・ 各県より提出された事例書の森林集積推進室での手直しや共通の特に多い修正すべきところが記された資料
- ・ パワーポイントのデータ共有
- ・ 後学のため、研修資料のファイル提供をお願いしたい
- ・ 林野庁の熱量は、県、市町村、末端まで伝わっているとは言えないため、説明会、研修は数多く続けてほしい
- ・ 経営管理制度上、必要な事務の細かい研修(境界明確化、集積計画の作成などポイントを絞ったもの)
- ・ 経験年数に応じて内容を変えてほしい
- ・ 新しい制度等に対応した研修にしてほしい
- ・ 意欲能力のある経営者の企画提案スキルアップ研修
- ・ 事業体の育成向けの研修。特に自分の森林を持っていない先進的な事業体の経営計画、皆伐、再造林の取組
- ・ 市町村を対象とした税の使い方

- ・ 森林以外への譲与税の活用法、考え方など

(5)その他、自由に感想をお聞かせ下さい。

(研修の中で特に印象に残った講義があれば教えて下さい。)

- ・ 全て参考になった
- ・ 国からのコメント等、非常に参考になる
- ・ 林野庁担当者の熱を感じた。率直なお話しが聞けて良かった
- ・ 今回の研修を受けて「自分の頭が固い」と感じた。もっと柔軟に業務を進めていきたいと感じた
- ・ 集積計画作成方法。事前の課題が出され、それについての振り返りをする研修方法で知識を深めることができた
- ・ 優良民間事業者（株式会社佐久）の講義
- ・ 林野庁の講義は具体的で大変分かりやすかった
- ・ 集積計画の演習発表は様々な意見、考えが聞けて良かった
- ・ 事前課題3つの課題設定の難易度が高いと感じた
- ・ グループ討議がないならリモートでの研修でも良いと思う
- ・ 他県の人と話さない、話せない研修は初めてだった。せめて席順をかえるなり話しやすいようにしてほしい
- ・ 研修時間が少ないためメニューは広くしないで作成書類の内容検討の具体的な指導としてほしい
- ・ 林野庁との意見交換の時間をもっと増やしてほしい
- ・ 講義を撮影していたようなので、動画をDVDで欲しい。聞いた内容を改めて市町村に伝えるが、時間、能力的に厳しい
- ・ 意見交換が多いので、学校形式より口の字の方が良いと思った
- ・ 時間がないため、ふりかえりシートは1日目のはじめに配ってほしい

Ⅲ 森林管理円滑化対策研修の評価

40点未満	(0 名)	
40点台	(0 名)	
50点台	(0 名)	
60点台	(0 名)	
70点台	(3 名)	資料は極力少なく、要点を分かりやすくしてほしい
80点台	(7 名)	他県と全く話ができなくて残念
90点台	(6 名)	時間が少し不足気味
100点	(5 名)	

平均： 87 点

②森林経営管理制度円滑化対策研修 関東ブロック実施報告書

1 日程・研修場所 令和2年11月24日(火)～11月26日(木)
研修会場 地方職員共済組合栃木県職員会館ニューみくら(栃木県宇都宮市)

2 研修受講者数:13名 [男性:12名 女性:1名]
(県職員4名、市職員8名、民間事業者1名)

福島県	3名	群馬県	1名	栃木県	7名	千葉県	1名
神奈川県	1名						

3 研修実施概要

○予定どおり全カリキュラムを修了

○研修運営状況、研修生の様子など

・1日目林野庁森林集積推進室の概要講義と、意向調査に関する受講生の発表があり、その後の質疑応答は時間超過での途中打ち切りとなってしまった。

・2日目午前は、制度運用のための優良民間事業者との意見交換(たかはら森林組合)と先進市町村の取組事例(森林経営管理制度の取組/栃木県矢板市)の取組状況、実践事例の報告を聴き、質疑応答が行われた。

・午後の集積計画演習では、各受講者が提出した課題について策定意図等を発表し、質問や意見を受ける流れで進められ、すべての発表に対し、林野庁講師からのアドバイスがあった。

・午後後半は、林野庁講師から、計画策定例が説明され、質疑応答、ふりかえりの後、予定時間での終了となった。

・最終日は、森林総合研究所による講義と、林野庁講師からの事業実施における留意事項等の説明と総括があり、終了した。

・休憩時間を惜しんで意見交換等をしている研修生が多くみられ、他自治体の情報収集等もブロック会議の大きな意義と感じた。



2日目:制度運用のための優良民間事業者との意見交換(たかはら森林組合・栃木県)



2日目:先進市町村の取組事例(栃木県矢板市)

○今回の研修で工夫したこと

[工夫点]

・感染防止対策としての座席配置、会場の換気・消毒、受付時の検温・手指消毒等、参加者の健康管理にできる限り配慮した。

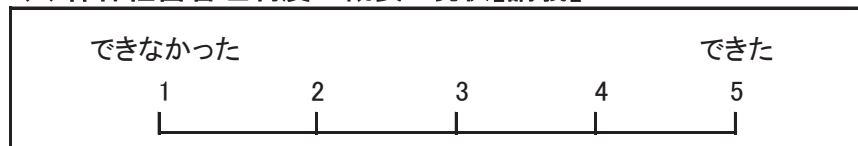
・資料は、事前に袋詰めし、まとめて配付することで準備時間の短縮に努めた。

森林管理円滑化対策研修(ブロック研修) 関東ブロック アンケート集計結果

回収率： 12名 / 13名 (92%)

I 本研修のねらい・内容をそれぞれの程度理解できましたか？

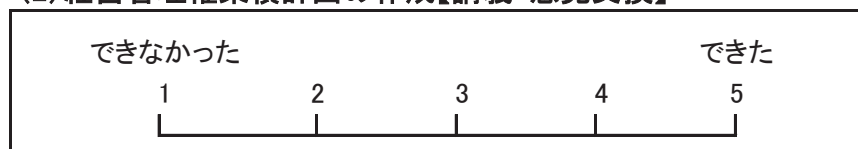
(1) 森林経営管理制度の概要と現状【講義】



平均：3.9

- 1 (0名)
- 2 (0名)
- 3 (2名) 制度概要は理解できるが集積計画をどのように活用できるかメリットを見出しにくい
- 4 (7名) 制度についての確認と全国の現状についての情報は今後の参考になると感じた
- 5 (1名) 分かりやすくまとまった資料で説明して頂いたので理解しやすかった

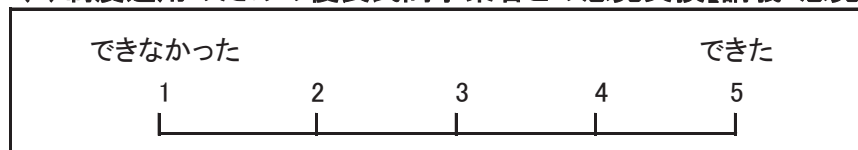
(2) 経営管理権集積計画の作成【講義・意見交換】



平均：3.6

- 1 (0名)
- 2 (0名)
- 3 (4名) 意識調査がどのようなものか理解が深まった／再度資料を自分なりに整理したい
- 4 (6名) 意識調査についての正しい理解を得ることができた
- 5 (0名)

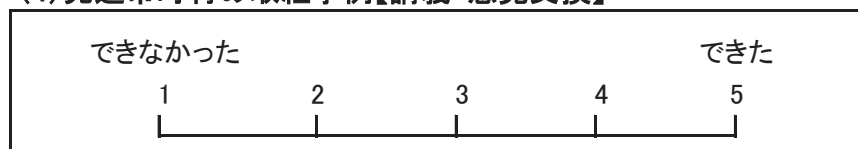
(3) 制度運用のための優良民間事業者との意見交換【講義・意見交換】



平均：4.2

- 1 (0名)
- 2 (0名)
- 3 (3名) 林分の材積の量、価格の算出方法を知ることができ有益だった／参考になった
- 4 (3名) 積極的に事業を行っている森林組合の事例に触れることができた
- 5 (5名) 見積額の提示や作業員のモチベーションが上がる賃金システム等経営努力を感じた

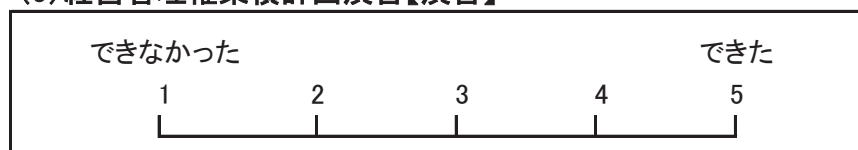
(4) 先進市町村の取組事例【講義・意見交換】



平均：4.0

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (3 名) 市の先進的取組を聞いて興味深い
- 4 (5 名) 積極的な取り組みに触れ、参考にしたいと考えた
- 5 (3 名) 制度への取り組みや意向調査の事前準備等、その後の流れなどを知ることができた

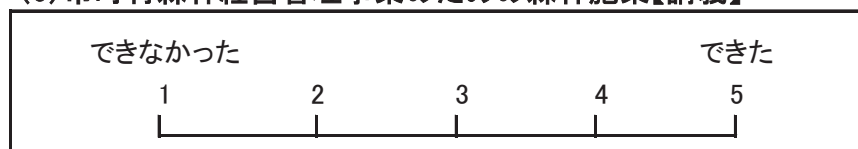
(5) 経営管理権集積計画演習【演習】



平均：4.0

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (1 名) 計画を立てる上での参考になった
- 4 (9 名) 自ら取り組む良い機会が効果的に理解が進んだ／有意義だった
- 5 (1 名)

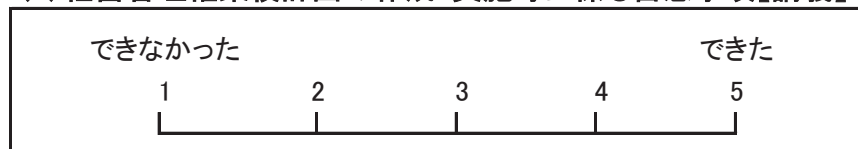
(6) 市町村森林経営管理事業のための森林施業【講義】



平均：4.2

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (1 名)
- 4 (8 名) 実際の森づくりにあたっての考え方を知ることができた
- 5 (3 名) 広葉樹林化について、いかに大変で時間がかかることなのか理解することができた

(7) 経営管理権集積計画の作成・実施等に係る留意事項【講義】



平均：3.8

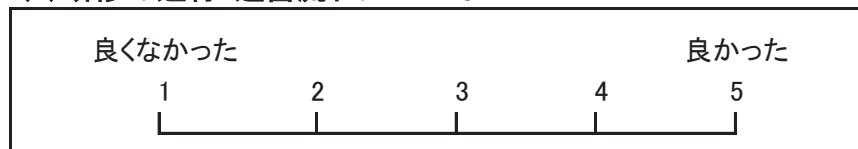
- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (4 名) もう少し時間をとって説明してもらえると良かった／今後取り組む際の参考としたい
- 4 (4 名) 集積計画策定後は再委託が望ましいとこの研修に参加するまではそう思っていた
- 5 (2 名)

IV 研修の進行・運営、研修設備等に関する評価

(1) 研修に係る事務局からの事前連絡等は十分できていましたか？

- 1：できていた（10名）
- 2：できていない（0名）

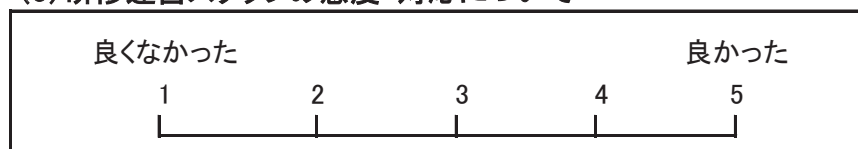
(2) 研修の進行・運営流れについて



平均：4.3

- 1（0名）
- 2（0名）
- 3（2名）もう少し問題を議論する雰囲気が必要だと思う／配布資料の整理が不十分と思われる
- 4（3名）全体として時間が足りなかった／講義の進捗に合わせて時間の管理をされていた
- 5（5名）事前の入念な準備のお陰でストレスなく取り組めた

(3) 研修運営スタッフの態度・対応について



平均：4.8

- 1（0名）
- 2（0名）
- 3（0名）
- 4（2名）
- 5（8名）丁寧に案内して頂けて大変助かった／コロナ対策等大変な中ご対応頂き感謝

(4) 今後、どのようなサポートや研修等があったら良いとお考えですか？

- ・林野庁の方が何時でも連絡すれば対応して頂けるのは有難いですが、県でも支援制度をとって頂けると大変助かる
- ・研修の内容が充実している分、庁内に持ち帰って展開するのが心配。このような有益な機会が増えると良い
- ・市町村職員は森林施業について詳しく学ぶ機会が少ないのでそのようなサポートや研修があると良い
- ・現地検討会

(5)その他、自由に感想をお聞かせ下さい。

(研修の中で特に印象に残った講義があれば教えて下さい。)

- ・ 全てが印象的であった
- ・ 広葉樹の天然更新について

Ⅲ 森林管理円滑化対策研修の評価

40点未満 (0 名)

40点台 (0 名)

50点台 (0 名)

60点台 (0 名)

70点台 (3 名) 内容が多すぎて十分に理解する時間が不足／資料が整理されていない

80点台 (1 名) ややスピードが速くてついていけないところがあった

90点台 (2 名) 研修の時間が十分でなく、駆け足で進んでしまったところがある

100点 (3 名)

平均: 86 点

③森林経営管理制度円滑化対策研修 中部・近畿①ブロック実施報告書

1 日程・研修場所 令和2年10月27日(火)～10月29日(木)
研修会場 金沢勤労者プラザ304・305研修室(石川県金沢市)

2 研修受講者数:20名 [男性:16名 女性:4名]
(府県職員12名、市町職員4名、国有林職員1名、団体職員3名)

新潟県	1名	富山県	2名	石川県	12名	和歌山県	1名
滋賀県	1名	京都府	1名	大阪府	1名	国有林	1名

3 研修実施概要

○予定どおり全カリキュラムを修了

○研修運営状況、研修生の様子など

・1日目、林野庁森林集積推進室から経営管理制度の概要についての講義があり、受講者から木質利用の取扱や森林環境税と森林環境譲与税との関係などについて、質問があった。

・2日目は、制度運用のための優良民間事業者との意見交換(かが森林組合の概要/かが森林組合)と先進市町村の取組事例(白山市の森林経営管理制度の取組/白山市)が報告された。受講者からかが森林組合に対して、意向調査発注時の契約方法や事業体が市町に求めていることなどについて質問がなされた。白山市に対しては、意向調査地区の選定方法や所有者が不明な森林の扱いなどについての質問がなされた。

・3日目は、森林総合研究所から森林管理をしていく上での考え方などについて講義があった。目標とする林型など技術的な観点でおおいに参考になった。また、森林集積推進室から筆界推定にかかる手法などについて講義がなされた。

・講義中はおもとより、講義終了後にも受講者は講師に個別事案について相談するなど、有意義な研修となった。



制度運用のための優良民間事業者との意見交換(かが森林組合)



同意見交換で民間事業者に示された受講者からのコメント

○今回の研修で工夫したこと

[工夫点]

・広い会議室を使用するなど、新型コロナウイルスの感染予防対策を十分に講じた上での開催となった。

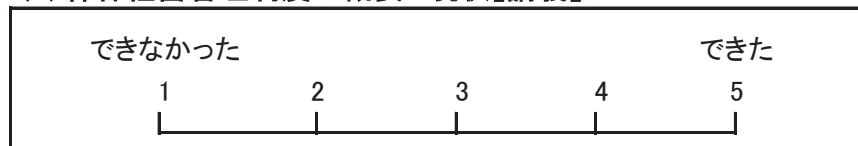
・それぞれの県や市町村での進捗状況に差があると思うが、森林経営管理集積計画に絞って研修し、同計画を事前課題で策定させるなど、より実践的な内容であった。それぞれの持ち場に帰って、業務に生かせると感じた。

森林管理円滑化対策研修(ブロック研修) 中部・近畿①ブロック アンケート集計結果

回収率： 19名 / 20名 (95%)

I 本研修のねらい・内容をそれぞれの程度理解できましたか？

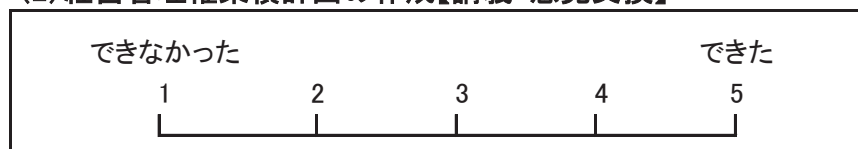
(1) 森林経営管理制度の概要と現状【講義】



平均：4.5

- 1 (0名)
- 2 (0名)
- 3 (0名)
- 4 (8名) 森林経営管理制度の基本から話を聞いて良かった／講義により理解を深められた
- 5 (7名) 譲与税の活用の検討の視点、市町村指導の参考となる／分かりやすい説明だった

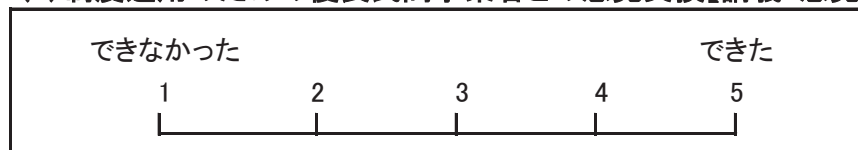
(2) 経営管理権集積計画の作成【講義・意見交換】



平均：4.1

- 1 (0名)
- 2 (0名)
- 3 (4名) 近県の情報をもっと知りたい／説明は分かりやすかった
- 4 (6名) 意向調査を実施している町が多く、参考にさせて頂きたい
- 5 (5名) 他の市町と情報共有が出来た／各県の悩みや問題点が聞けて有意義だった

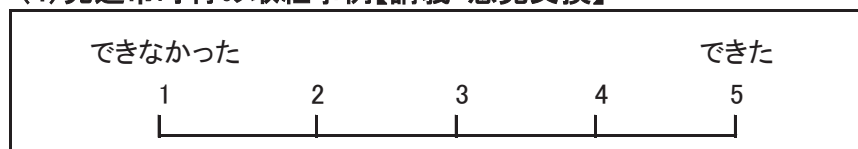
(3) 制度運用のための優良民間事業者との意見交換【講義・意見交換】



平均：4.4

- 1 (0名)
- 2 (0名)
- 3 (1名) 当市と全く違う状況の中での取組事例を当事者から聞いたことが良かった
- 4 (8名) 森林経営管理制度に対する熱意等を聞いて良かった／良い事例で参考となった
- 5 (9名) 地域の森林組合と協力して制度を運用する方法が分かった

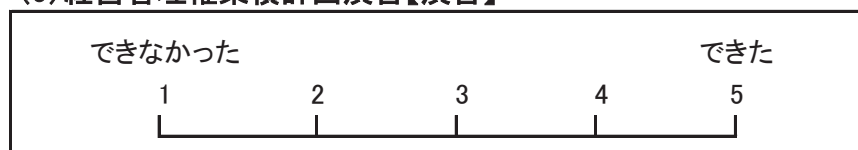
(4) 先進市町村の取組事例【講義・意見交換】



平均：4.4

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (2 名) 担当者の市職員から是非ご講義頂きたかった
- 4 (7 名) 地理や土地柄に合わせた制度運用があり、様々な視点があると感じた
- 5 (9 名) アドバイザーと市との連携の重要性、有意性がよく理解できた

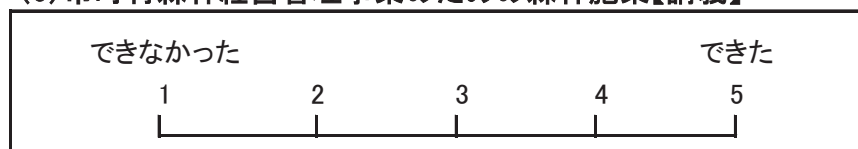
(5) 経営管理権集積計画演習【演習】



平均：3.5

- 1 (1 名) 課題が深まった
- 2 (3 名) 集積計画の作成をしたことが無いので難しかった／よく見直して身につけていきたい
- 3 (2 名) 受講生の理解度や取り組みの差が大きかった／学ぶべき事がまだまだたくさんあると感じた
- 4 (3 名) 自らが考えた集積計画に対する添削・指導を直接頂けたことは大きな収穫であった
- 5 (4 名) 集積計画の規模感を掴めた／計画作成のポイントを学ぶことができた

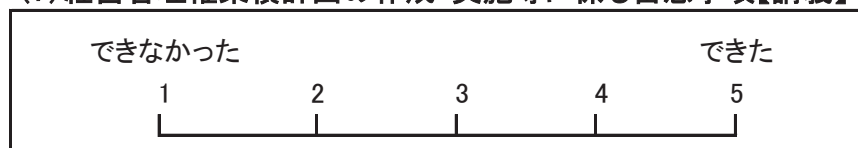
(6) 市町村森林経営管理事業のための森林施業【講義】



平均：4.5

- 1 (0 名)
- 2 (1 名) 経験がなく、用語から覚えていく必要を感じた
- 3 (1 名) 内容の専門性が高く理解が追いつかなかった
- 4 (4 名) 天然更新完了基準を基本として考えていたがそれだけでは難しいことが分かった
- 5 (12 名) 現地に合わせた施業が重要であることが分かった／大変興味深い内容であった

(7) 経営管理権集積計画の作成・実施等に係る留意事項【講義】



平均：4.4

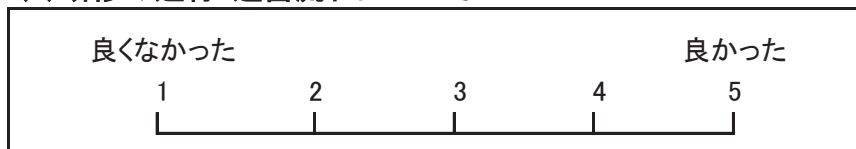
- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (2 名) 全国的な事から地元に使えそうなものを考えていく必要を感じた
- 4 (7 名) 境界明確化の進め方について参考になった
- 5 (9 名) 集積計画の作成にあたって、市町村等に指導、助言するポイントを学ぶことができた

IV 研修の進行・運営、研修設備等に関する評価

(1) 研修に係る事務局からの事前連絡等は十分できていましたか？

- 1：できていた（17名）
- 2：できていない（0名）

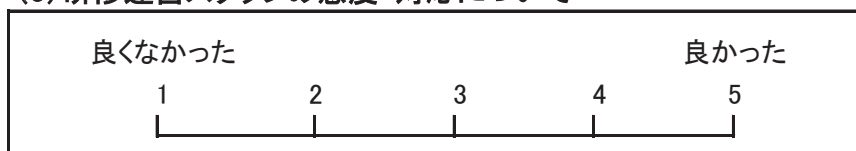
(2) 研修の進行・運営流れについて



平均：4.4

- 1（0名）
- 2（0名）
- 3（1名） 事前のファイリング、付箋等されているとスムーズかと感じた
- 4（8名） 時間が長くなった場合の休息のタイミングを工夫してほしい
- 5（9名） スムーズな進行・運営がされていたと思う

(3) 研修運営スタッフの態度・対応について



平均：4.6

- 1（0名）
- 2（0名）
- 3（1名）
- 4（5名） 最前列で受講したが、スタッフとの距離が近すぎた
- 5（12名） 研修運営の円滑化に努力されていた／コロナ対応がしっかりできた

(4) 今後、どのようなサポートや研修等があったら良いとお考えですか？

- ・ この研修の実施箇所（ブロック）が増えれば良いと考える（距離的な問題、社会情勢等から、このような有益な研修に参加できないのはもったいないと考えるため）
- ・ 県単位で良いのもう少し市町村向けの内容の研修をお願いしたい
- ・ 市町村向けの基礎からのサポートがあると良いと思う
- ・ 制度開始から1年半が経ち、市町村の取組状況に差ができていることから進捗に応じた市町村向け研修を複数用意してほしい
- ・ 事例がでたとき、事例を含めた内容の研修
- ・ 優良事例とともに上手く進んでいない事例を紹介し、原因分析と対処方法を話し合う研修の実施
- ・ 先進・優良事例のみを集めた研修
- ・ 先進事例地の現地研修等
- ・ 市、県、企業のレベルを合わせて協議したい（市のみ、県のみ、企業のみなど）
- ・ 配布資料が分かりやすく充実しており受講できて良かった。今後適時アップデートされた資料等が閲覧できる体制を充実してほしい
- ・ このような森林経営管理法の研修や所得者不明土地に関する法整備の講義があると助かる
- ・ 税の用途に関する研修（森林整備以外の取り組み）

- ・ 事業体へ対する理解を深めたり良い関係を構築できる内容の研修
- ・ 実際の意向調査票事例集が欲しい

(5)その他、自由に感想をお聞かせ下さい。

(研修の中で特に印象に残った講義があれば教えて下さい。)

- ・ 資料1のスライド9「制度による効果」
- ・ かが森林組合専務の講義（意見交換）
- ・ 広葉樹更新の手法などは今後に掛かる話なので特に印象に残った
- ・ 市町村森林経営管理事業のための森林施業の講義
- ・ 各県の意向調査実施状況について聞いて良かった
- ・ 勉強になった講義、市町での実務の状況等、全てが印象に残った
- ・ このような研修は大変有意義であり市町村にはもっと参加してほしい
- ・ もっと多くの事業体の取組事例を聞きたかった
- ・ 意向調査実施後、集積計画に至る過程での課題について意見交換する場があれば良い
（今後増加するものと思われる）
- ・ 森林経営管理制度は民法等を踏まえて慎重に対応すべき点もある事を補足されていた講義を聞いて、制度運用の注意点についてより詳しく説明があればと思った
- ・ 法律関係の講義を今後もお願いしたい
- ・ 林野庁からの説明時間がもう少しゆっくと説明してほしい

Ⅲ 森林管理円滑化対策研修の評価

40点未満	(0 名)	
40点台	(0 名)	
50点台	(0 名)	
60点台	(0 名)	
70点台	(1 名)	市町村でやっていない内容があったため
80点台	(6 名)	参加者の市町村と都道府県を分けた方が良かった
90点台	(5 名)	3日間では足らなかった
100点	(4 名)	業務を効率的に進める内容が含まれていた

平均： 89 点

④森林経営管理制度円滑化対策研修 中部・近畿②ブロック実施報告書

- 1 日程・研修場所 令和2年10月20日(火)～10月22日(木)
研修会場 ・1、2日目静岡県男女共同参画センターあざれあ2階(静岡県静岡市)
・3日目レイアップ御幸町ビル5階(静岡県静岡市)

- 2 研修受講者数:20名 [男性:19名 女性:1名]
(府県職員4名、市町村職員10名、団体職員6名)

山梨県	1名	静岡県	14名	愛知県	1名	京都府	1名
和歌山県	3名						

3 研修実施概要

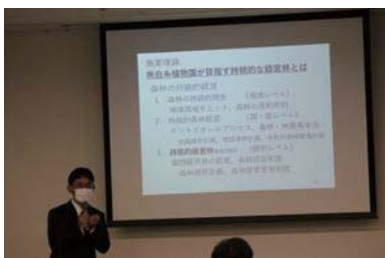
○予定どおり全カリキュラムを修了

○研修運営状況、研修生の様子など

・2日目午前は、制度運用のための優良民間事業者との意見交換((株)白糸植物園/富士宮市)と先進市町村の取組事例(森林経営管理制度を活用した富士市の取組状況について/富士市)の報告があった。富士市の取組に対しては、制度の運用実際や発生している課題等についての参加者の関心が高く、活発な意見交換が行われた。

・3日目は、市町村森林経営管理事業として森づくりを進めるにあたり参考となる、最新の知見に基づく森林施業技術が紹介された。目標林型を定めるための情報や広葉樹林化のコストや期間について、受講者にとって有用な講義となった。

・全体としては、事前課題の作成に取り組んだことにより、単なる講義の受講にとどまらず、発表や意見交換を通じて、各受講生が主体的に参加する姿が認められ、講義終了後にも受講者同士や講師との情報交換も積極的に行われ、自らの抱える課題の解決につなげていたことが印象的であった。



制度運用のための優良民間事業者との意見交換((株)白糸植物園)



先進市町村の取組事例(富士市)

○今回の研修で工夫したこと

[工夫点]

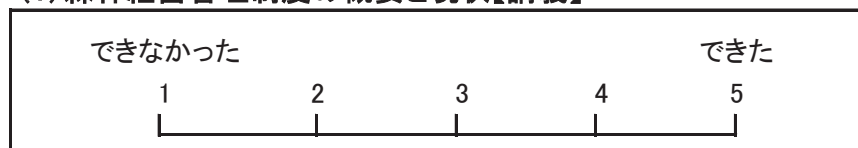
- ・開催県の推薦枠として、「静岡県森林整備アドバイザー」4名のスポット参加を得て、アドバイザーとしての市町村等への支援経験に基づくコメントを頂くことができた。
- ・新型コロナウイルス感染対策として、「新しい生活様式」に対応した研修となるよう、会議室定員の半分以下の人数、パーティション設置、マスク・フェイスシールド着用、受付時の体温測定、休憩時の換気などを適切に実施し、参加者の健康管理に配慮した。

森林管理円滑化対策研修(ブロック研修) 中部・近畿②ブロック アンケート集計結果

回収率： 19名 / 20名 (95%)

I 本研修のねらい・内容をそれぞれの程度理解できましたか？

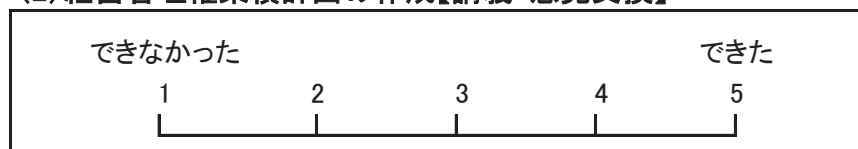
(1) 森林経営管理制度の概要と現状【講義】



平均：4.6

- 1 (0名)
- 2 (0名)
- 3 (0名)
- 4 (7名) 経営管理制度の運用方法について最新の考え方を知ることができた
- 5 (9名) 森林整備の必要性や意向調査から森林経営管理権までの流れが理解できた

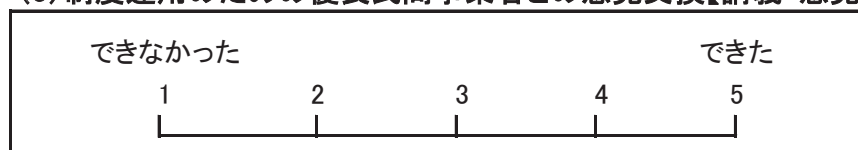
(2) 経営管理権集積計画の作成【講義・意見交換】



平均：4.3

- 1 (0名)
- 2 (0名)
- 3 (2名) 大変参考になった／他事例も聞けて良かった
- 4 (8名) 意向調査の考え方やコツについて理解が深まった
- 5 (7名) 他県の取り組みや進捗で今後の業務に活かせる場所があったので参考にしたい

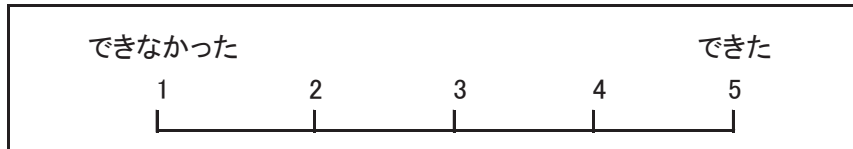
(3) 制度運用のための優良民間事業者との意見交換【講義・意見交換】



平均：4.7

- 1 (0名)
- 2 (0名)
- 3 (0名)
- 4 (6名) 理念に基づいた森林経営で信頼できると思った／経営戦略に驚いた
- 5 (12名) 長期的な経済林を目指す具体的なプランを持っていることに刺激を受けた

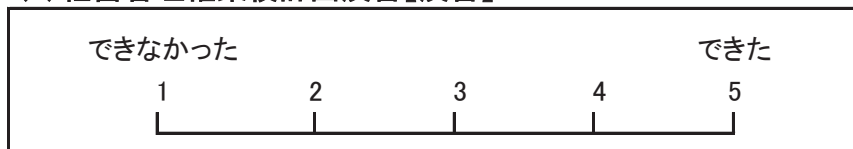
(4) 先進市町村の取組事例【講義・意見交換】



平均：4.6

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (0 名)
- 4 (6 名) 配分計画まで進んでいる事例を聞くことができ参考になった
- 5 (11 名) 実務に活かせる内容ばかりだった／計画制作時の資料にさせて頂く

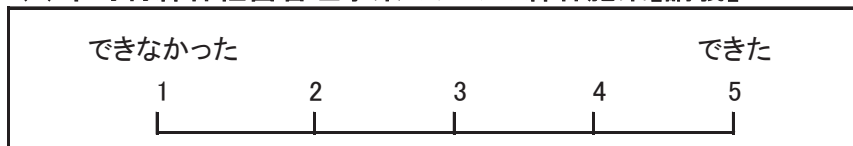
(5) 経営管理権集積計画演習【演習】



平均：3.9

- 1 (0 名)
- 2 (2 名) 全体を説明するのではなく、重要なポイントだけを説明した方がよかった
- 3 (3 名) 集積計画作成のポイントを講義と課題発表を通して理解できた
- 4 (4 名) 研修生による様々な考えを聞き勉強になった
- 5 (6 名) 集積計画の考え方（経営の仕方）が様々なことを実感した

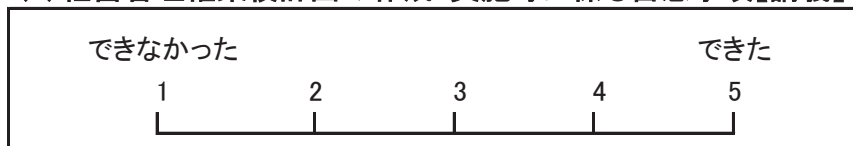
(6) 市町村森林経営管理事業のための森林施業【講義】



平均：4.4

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (2 名) 人工林を天然林に帰化することは困難だと分かった
- 4 (6 名) 針広混交林化の難しさがデータから分かった／技術的問題点が理解できた
- 5 (10 名) 目標林型の考え方、それに誘導するための方法等、今後の業務に役に立つものになった

(7) 経営管理権集積計画の作成・実施等に係る留意事項【講義】



平均：4.4

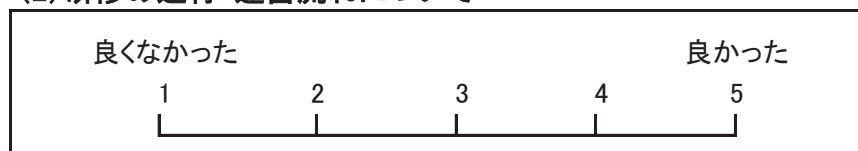
- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (1 名) 境界を明確にするにあたり、所有者同士の合意が必要だと分かった
- 4 (8 名) 法令関係の最新の話が聞いて参考になった／民法改正情報が役に立ちそうである
- 5 (8 名) 発注方法や制度を取り巻く状況が分かった／土地の扱いに係る講義が参考になった

IV 研修の進行・運営、研修設備等に関する評価

(1) 研修に係る事務局からの事前連絡等は十分できていましたか？

- 1 : できていた (16 名)
- 2 : できていない (0 名)

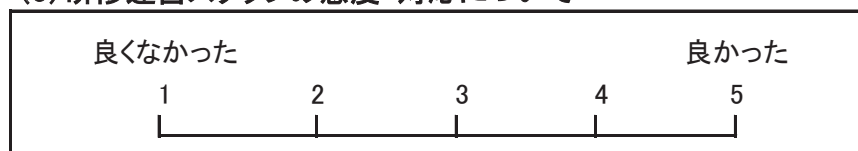
(2) 研修の進行・運営流れについて



平均: 4.3

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (2 名) 内容を詰め込みすぎた部分があると思う
- 4 (7 名) 時間オーバーが複数回あった／親切に対応して頂けた
- 5 (7 名) 能動的に参加できるよう工夫されていて知識が定着した／大変受講しやすかった

(3) 研修運営スタッフの態度・対応について



平均: 4.9

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (0 名)
- 4 (2 名)
- 5 (14 名) 丁寧に対応頂いた／コロナへの配慮などしっかりやって頂いた

(4) 今後、どのようなサポートや研修等があったら良いとお考えですか？

- ・ 今回のような研修を各都道府県に行って頂けると嬉しい
- ・ 全国の事例を知る研修
- ・ 先進事例や各市町村の取組例についてこれまで以上に展開して頂きたい。今回の研修でも、他市町村の取組みがとても参考になった
- ・ 更に市町村取組情報を流してほしい
- ・ コロナ対策で難しいと思うが、都道府県や市町村の担当レベルのグループ座談会
- ・ 集積計画作成時の技術的な助言
- ・ 今後も集積計画を作ってみるという演習は実施してほしいと思う
- ・ 制度の詳しい説明や国の動きは丁寧に説明する場を設けて頂きたい
- ・ 針広混交林化のやり方について
- ・ 森林情報の扱い方（この情報を使えば経営に適する適さないの判断ができる等）。GIS活用方法
- ・ 林務担当者として知っておくべき基礎知識の研修があれば受講したい
- ・ 林学に関する知識を深められる研修があったら良い
- ・ 県へのお願いになるが、統一の見解が欲しい

(5)その他、自由に感想をお聞かせ下さい。

(研修の中で特に印象に残った講義があれば教えて下さい。)

- ・ 3日通して非常に分かりやすかった。特に林野庁の講義がとても勉強になった
- ・ 森林管理制度の概要、集積計画の作成例
- ・ 研修の内容は理解できたが難しかったと思う。管理制度の市町の責任を取り上げたところが参考になった
- ・ 静岡県の中の市町村の動向を聞いて良かった
- ・ 書面等では見えない事情等を教えて頂き大変興味深かった
- ・ 他県、他市町村ともっと意見交換等をしたかった（休憩時間での話しに限界があった）
- ・ 事前課題が難しかった。進め方のサポートとなる資料等がもっと欲しかった

Ⅲ 森林管理円滑化対策研修の評価

40点未満	(0 名)	
40点台	(0 名)	
50点台	(0 名)	
60点台	(0 名)	
70点台	(0 名)	
80点台	(2 名)	事前課題に日常業務が圧迫されてしまった
90点台	(7 名)	受講生間での意見交換がもう少しできたら良かった
100点	(7 名)	大変良かった、参考になった

平均： 94 点

⑤森林経営管理制度円滑化対策研修 西日本ブロック実施報告書

1 日程・研修場所 令和2年10月6日(火)～10月8日(木)
研修会場 鳥取市役所多目的室1(鳥取県鳥取市)

2 研修受講者数:19名 [男性:15名 女性:4名]
(府県職員9名、市職員6名、国有林1名、民間事業者3名)

京都府	1名	兵庫県	6名	愛媛県	1名	鳥取県	10名
国有林	1名						

3 研修実施概要

○予定どおり全カリキュラムを修了

○研修運営状況、研修生の様子など

・1日目、箕輪富男・林野庁森林利用課長の開講の挨拶から研修がスタートし、森林経営管理制度の概要と現状、経営管理権集積計画の作成へと講義が進められた。

・2日目、制度運用のための優良民間事業者との意見交換(鳥取県東部森林組合の経営方針及び取組状況)では、働く人を大切にする職場、人材確保の方法などが披露された。先進市町村の取組事例(鳥取市の森林経営管理制度の取り組みについて、八頭町における森林経営管理制度の取組)では、2つの異なるタイプ市町から先進の取組事例が報告された。

・3日目は、市町村森林経営管理事業のための森林施業、経営管理権集積計画の作成・実施等に係る留意事項について講義された。

・全体としては、広めの研修会場が準備できたことで、コロナ対策がとりやすい安全な研修会が運営できたと考えられた。



林野庁箕輪課長あいさつ:1日目



経営管理権集積計画演習:2日目

○今回の研修で工夫したこと

[工夫点]

・講演、講義及び発表者には、マスクあるいはフェイスシールドを着けていただき、前面に飛沫防止ボードを置く措置を講じた。

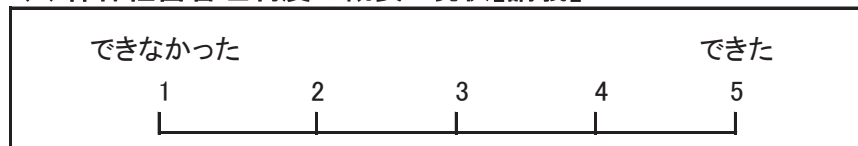
・会場の音響施設に不具合があり固定及び移動マイクが使用できなかったが、3台のマイク・スピーカーシステムを代替機として使用した。音が聞き取れないなどの障害はなかった。

森林管理円滑化対策研修(ブロック研修) 西日本ブロック アンケート集計結果

回収率： 18名 / 19名 (95%)

I 本研修のねらい・内容をそれぞれの程度理解できましたか？

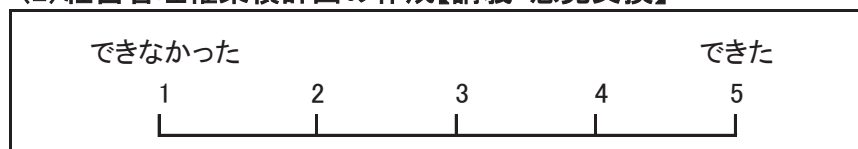
(1) 森林経営管理制度の概要と現状【講義】



平均： 3.9

- 1 (1名) 質問の意図が資料でくまれていなかった
- 2 (2名) 説明は分かりやすかったが、初めての制度でやや難解だった
- 3 (2名) 初めて携わる業務研修で中程度の理解度／ポイントを押さえて具体的な説明が良かった
- 4 (6名) 制度概要等概ね理解できた／考えを改める部分もあることが分かった
- 5 (7名) 事前学習と本日講義で理解が深まった／市町村への指導の進め方の参考になった

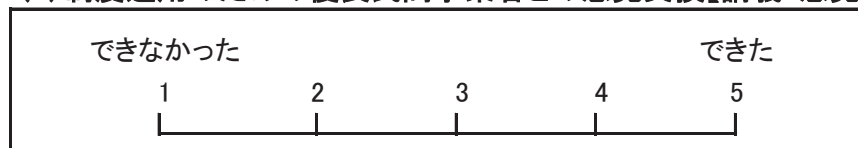
(2) 経営管理権集積計画の作成【講義・意見交換】



平均： 3.7

- 1 (1名) 参加者としての議論が深まらなかった
- 2 (1名) 制度を軽視していたと感じた
- 3 (5名) 他の自治体の事例が参考になった／市町村への指導時のポイントは押さえられた
- 4 (7名) 基本の流れを確認できた／意向調査の実際の状況等を聞いて良かった
- 5 (4名) 各市町村の意向調査の状況を本市での実施に役立てたい

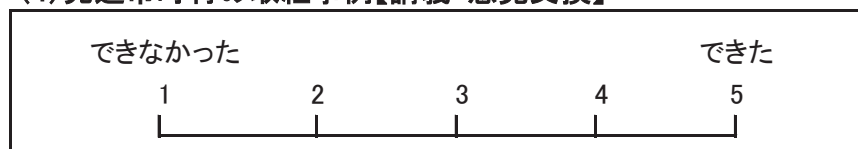
(3) 制度運用のための優良民間事業者との意見交換【講義・意見交換】



平均： 4.4

- 1 (0名)
- 2 (0名)
- 3 (2名) 優良事業者の特徴について理解が深まった
- 4 (7名) 従業員確保、森林所有者への利益還元確保の内情が分かり勉強になった
- 5 (8名) 大変優良な民間事業者の事例だった／他の事業者の考えが分かって良かった

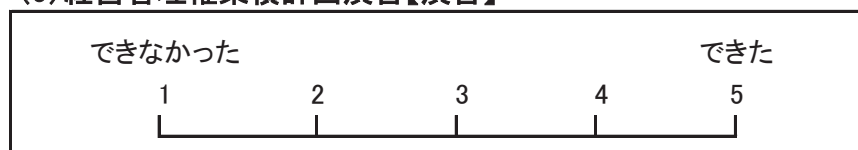
(4) 先進市町村の取組事例【講義・意見交換】



平均：4.3

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (3 名) 2自治体の抱える実情と課題が全部ではないが、少し分かった
- 4 (6 名) 意向調査結果の解析が参考となった／他市町村の事例を伝えられるよう工夫したい
- 5 (8 名) 意向調査の取組経験からの様々な提案が良く理解できた

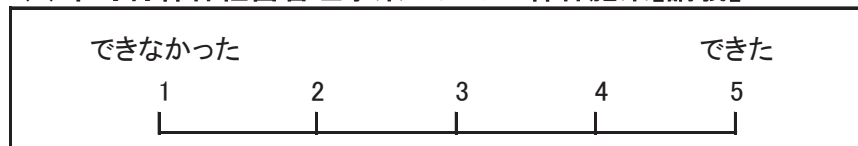
(5) 経営管理権集積計画演習【演習】



平均：3.4

- 1 (1 名) 基礎知識が無く難しかった
- 2 (3 名) 発表には準備が必要／作成には経験が必要
- 3 (5 名) 自分で取り組むことでどのような点で困るのかを知ることができた
- 4 (5 名) 他の方の発表や作成例をみて森林管理の心を入れ込むことが必要だと気づいた
- 5 (3 名) 集積計画の様々なパターンが示され参考になった。持ち帰って再度検討したい

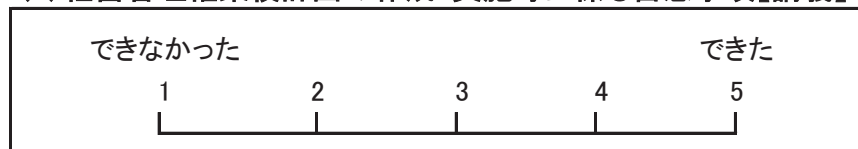
(6) 市町村森林経営管理事業のための森林施業【講義】



平均：3.9

- 1 (0 名)
- 2 (1 名) 食害対策か、事前の判断が重要と感じた
- 3 (4 名) 広葉樹林化は現実には長いスパンとなり、所有者に話をすることは難しいと感じた
- 4 (6 名) 一番重要なのは森林であること、荒らさないこと、前生稚樹、原則など勉強になった
- 5 (5 名) 広葉樹林化の難しさを改めて理解することができた

(7) 経営管理権集積計画の作成・実施等に係る留意事項【講義】



平均：3.6

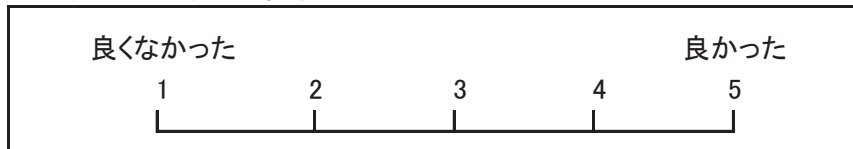
- 1 (0 名)
- 2 (1 名) 理解には自信がないが、活用はできる
- 3 (6 名) 各種法改正の利点と積極的に活用していきたい
- 4 (7 名) 配分計画の指導になると思うので予め内容を勉強できて良かった
- 5 (2 名) 国の法改正のポイントが分かったのが良かった

IV 研修の進行・運営、研修設備等に関する評価

(1) 研修に係る事務局からの事前連絡等は十分できていましたか？

- 1：できていた（16名）
2：できていない（1名） 資料の解像度が悪かったので生ファイルが良かった

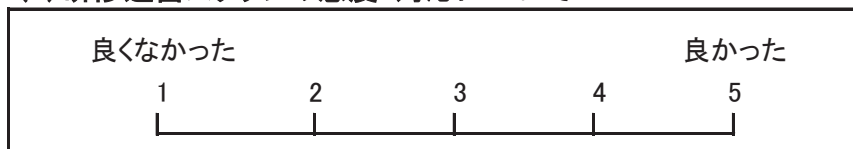
(2) 研修の進行・運営流れについて



平均：4.1

- 1（1名） 会場設営はトイレの導線がつぶれている。講師の方への拍手を促しても良かったと思う
2（0名）
3（4名） 休憩の頻度がもう少しほしい／全体的に時間が不足していたと思う
4（5名） 内容が盛りだくさんだったがうまく運営していた／最終日の終了時間をもう少し早く
5（8名） 事前の説明で研修が取り組みやすかった

(3) 研修運営スタッフの態度・対応について



平均：4.9

- 1（0名）
2（0名）
3（1名）
4（0名）
5（16名） 新型ウイルス対策等大変な中、気持ちよく受講できた

(4) 今後、どのようなサポートや研修等があったら良いとお考えですか？

- ・ 森林経営管理制度についてはもう少し走ってから浮き彫りになった内容・成果等を伝達してもらえる研修があればありがたい
- ・ 制度も進み、多くの事例が集まってきていると感じるが、これらを基に情報提供、共有が進めば良いと思う。特に失敗事例が知りたい
- ・ 重箱の隅をつつくような対応事例の講義
- ・ 初級編の開催
- ・ 市町村担当者が替わっても実施いただける体制をお願いしたい
- ・ 集積計画の実例をもとにした工夫や改善点などを共有する研修会の開催
- ・ 同制度に係る他部局（法律、土木など）横断的なもの
- ・ 意向調査、集積計画、配分計画、市町村管理事業などの実例を一通り学習できる研修
- ・ QGISや森林クラウドを含む情報交換会
- ・ QGIS研修
- ・ 自分の理解が追いついていないところがあるが、内容はとても濃く有意義なものなのでオンラインへの対応をお願いしたい

(5)その他、自由に感想をお聞かせ下さい。

(研修の中で特に印象に残った講義があれば教えて下さい。)

- ・ 全て良い勉強になった
- ・ 民間事業者（東部森林組合長）の話
- ・ 林野庁講師の説明はよく理解できた。説明が上手
- ・ 市町村の現状を知られたこと
- ・ 森林管理のための森林施業。実践的で分かりやすかった
- ・ 研修を受けて個人の考え方により計画が変わる。答えがあるようでない。本当に奥が深い制度
- ・ 少ない人数での研修だったため、重すぎず発言しやすい空気感だった
- ・ 公用車の駐車について会場の厚意で駐車料が無料となったのはありがたい
- ・ 事前課題が複雑すぎる。説明考察資料が少なすぎる。もっとシンプルにしてほしかった
- ・ 講師資料がたくさんあり、事前に予習しておきたかった

Ⅲ 森林管理円滑化対策研修の評価

40点未満	(0 名)	
40点台	(2 名)	自分に対しての評価
50点台	(0 名)	
60点台	(0 名)	
70点台	(0 名)	
80点台	(7 名)	事前課題は発表時にもっと効果的な方法によること
90点台	(7 名)	参加者間でもう少し話し合える場があれば良かった
100点	(2 名)	

平均： 82 点

⑥森林経営管理制度円滑化対策研修 四国ブロック実施報告書

1 日程・研修場所 令和2年9月28日(月)～9月30日(水)
研修会場 高知市町村職員共済会館3階大ホール「桜」(高知県高知市)

2 研修受講者数:22名 [男性:17名 女性:5名]
(県職員11名、団体職員9名)

山口県	1名	愛媛県	9名	高知県	12名
-----	----	-----	----	-----	-----

3 研修実施概要

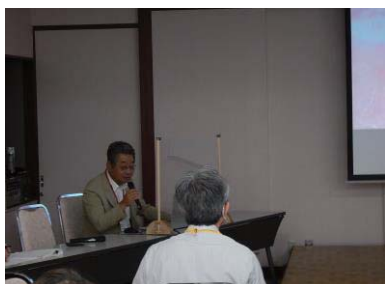
○予定どおり全カリキュラムを修了

○研修運営状況、研修生の様子など

・1日目、森林経営管理制度の概要と現状の説明に続いて、経営管理権集積計画の講義と研修生が事前に作成した集積計画の発表、それらについて講師のコメントがされた。

・2日目、制度運用のための優良民間事業者との意見交換(森林経営管理法と森林組合／中村市森林組合)では同制度の運用状況等の説明、受講生との意見交換がされた。続いて、先進市町村の取組事例(四万十市)の発表がされた。

・3日目、市町村森林経営管理事業のための森林施業について、学術的見地からの視点で講義が行われ、続いて林野庁講師から経営管理権集積計画の作成・実施等に係る留意事項の講義が行われ、3日間の研修を終えた。



制度運用のための優良民間事業者との意見交換(中村市森林組合)



先進市町村の取組事例(四万十市)の講義

○今回の研修で工夫したこと

[工夫点]

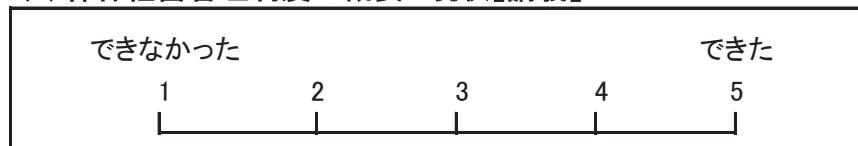
・工夫した点でもあるが、上記の事前に課題を取りまとめるプロセスが本研修のポイントでもあり、研修内容を研修生自らが少しでも掘り下げて習得する機会となったと思われる。

森林管理円滑化対策研修(ブロック研修) 四国ブロック アンケート集計結果

回収率： 20名 / 22名 (91%)

I 本研修のねらい・内容をそれぞれの程度理解できましたか？

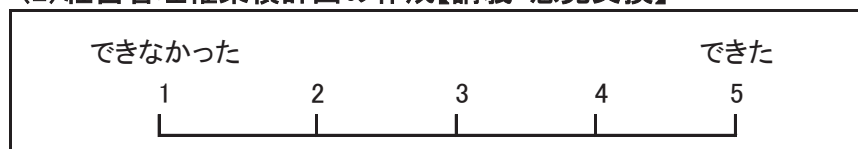
(1) 森林経営管理制度の概要と現状【講義】



平均：4.2

- 1 (0名)
- 2 (0名)
- 3 (2名)
- 4 (12名) 森林の公益的機能の発揮こそが大切なのだと改めることができた
- 5 (6名) 制度の基礎的な部分を細かい点まで改めて学ぶことができた／分かりやすく良かった

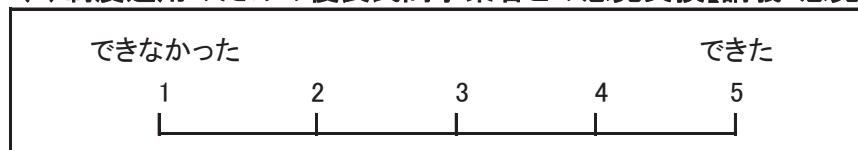
(2) 経営管理権集積計画の作成【講義・意見交換】



平均：3.8

- 1 (0名)
- 2 (2名) 配布資料の読み直しや動機と理解を共有したい
- 3 (4名) 計画の記載について、丁寧に書く必要がある事が分かった
- 4 (10名) 他県の取組状況が分かった。回答率を向上させる方法が分かった
- 5 (4名) 意向調査からの集積計画までの流れを把握することができた

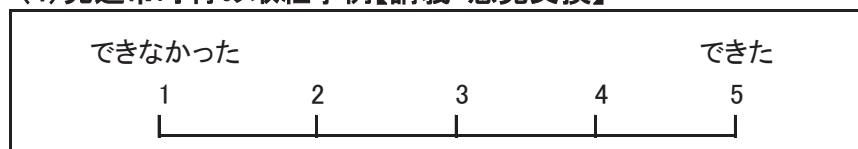
(3) 制度運用のための優良民間事業者との意見交換【講義・意見交換】



平均：4.2

- 1 (0名)
- 2 (0名)
- 3 (5名) 民間事業者の現状を直接知ることができた
- 4 (6名) 事業体の声を聞くことができて良かった／活動状況や課題が分かった
- 5 (9名) 優良民間事業者を選定等する際の参考になっ

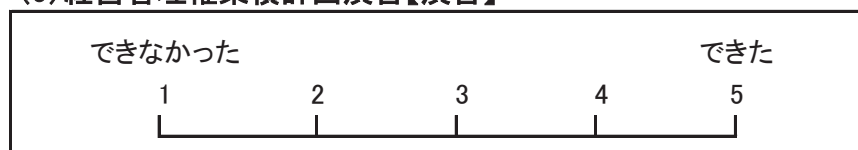
(4) 先進市町村の取組事例【講義・意見交換】



平均：4.3

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (2 名) 手順について分かりやすくまとめられていたので今後の指導に役立てられる
- 4 (10 名) 地籍調査が進んでいないにも関わらず制度運用に前向きに取り組んでいる
- 5 (8 名) どのように当制度を進めているかが良く分かった

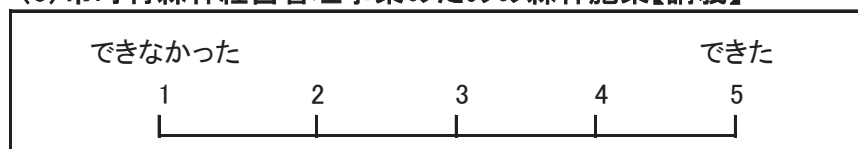
(5) 経営管理権集積計画演習【演習】



平均：3.9

- 1 (0 名)
- 2 (2 名) 難しく理解しきれない点があった／森林の状況を深読みし、勉強していきたい
- 3 (5 名) 自分で集積計画を立てる機会がなかったため、良い機会だった
- 4 (5 名) 各々の集積計画、林野庁からの集積計画がとても参考になった
- 5 (7 名) 様式の文言等を早急に取り組み直したい／着目点、考慮した点が理解できた

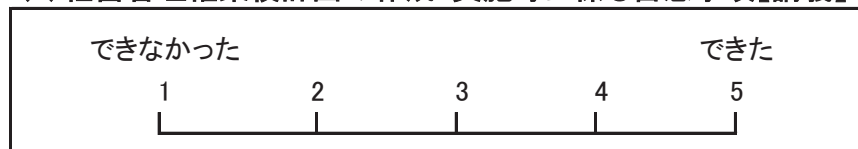
(6) 市町村森林経営管理事業のための森林施業【講義】



平均：4.4

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (1 名) 制度を活用し針広混交林化へと誘導する市町村がある。講義を参考にその山に行きたい
- 4 (9 名) 広葉樹の天然更新について、前生樹、周辺の稚樹等を十分理解し、判断していきたい
- 5 (7 名) 間伐、皆伐施業選択の参考になった／針広混交林への誘導の難しさを理解した

(7) 経営管理権集積計画の作成・実施等に係る留意事項【講義】



平均：4.4

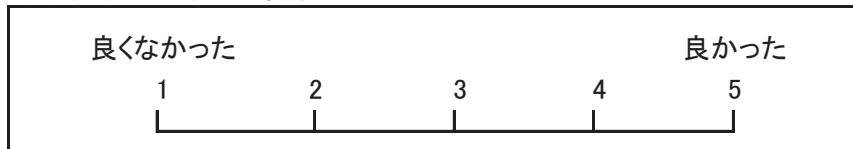
- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (0 名)
- 4 (9 名) 集積計画作成のヒントが多数あり、参考になった
- 5 (7 名) 今あるデータでも進められる例は今後活かしたい／手法として参考になった

IV 研修の進行・運営、研修設備等に関する評価

(1) 研修に係る事務局からの事前連絡等は十分できていましたか？

- 1：できていた（20名）
- 2：できていない（0名）

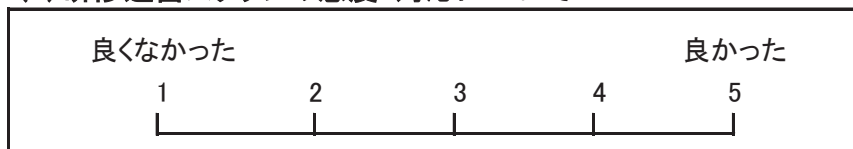
(2) 研修の進行・運営流れについて



平均：4.9

- 1（0名）
- 2（0名）
- 3（1名）
- 4（1名） 演習発表には時間が足りなかった印象がある
- 5（18名） 円滑にまわっており、非常に充実した研修だった／丁寧な説明で分かりやすかった

(3) 研修運営スタッフの態度・対応について



平均：4.9

- 1（0名）
- 2（0名）
- 3（0名）
- 4（2名）
- 5（18名） 心配であった感染症対策もとられていて安心できた

(4) 今後、どのようなサポートや研修等があったら良いとお考えですか？

- ・ 初めて円滑化対策に参加させていただいた。主な対象は市町村を指導する県職員となっていたが、今後は実際に行う市町村を主なターゲットとした研修を行っていただきたい
- ・ なるべく多くの自治体が参加できる体制ができれば良いと思う
- ・ 森林GISの有効活動を推進していきたいと考えているため、今回よりさらに深まった内容の研修
- ・ 毎年度、このような円滑化対策研修を実施していただければとても助かる。配分計画策定済みの市町村の意見も聞いてみたい
- ・ 同様の研修があれば参加したい
- ・ これから市町での取り組み事例がたくさん出てくるであろうと思うので、参考になる取り組みを紹介しつつ、国での法整備状況について解説していただきたい
- ・ 今後、情報が集まれば他県の取り組みなど詳しく紹介する時間があっても良いかと思った
- ・ この制度が数年経過する事により、全国に蓄積された優・悪事例を教えて欲しい
- ・ 実際に各地で作成されている集積計画や配分計画を見ながら色々話し合うような場があると良い
- ・ 先進地（四万十市のような）の話をもっと具体的に聞いてみたかった（集積計画の内容等）
- ・ 事業費算定に関する演習、意向調査地区選定に関する模擬演習
- ・ 林務をあまり分かっていない人のための研修と合わせた森林経営管理制度説明会

(5)その他、自由に感想をお聞かせ下さい。

(研修の中で特に印象に残った講義があれば教えて下さい。)

- ・ 大変中身の濃い研修を開催いただきありがたかった
- ・ 特に四万十町や林野庁講師には良い刺激を受けた。担当地域での未整備林の解消・森林の公益的機能の発揮に尽くす
- ・ 林野庁の生の声を聞いて良かった
- ・ 3日間大変勉強になった。4月から入庁したばかりで分からない部分もあったが、帰って復習したい。印象に残った講義は、林野庁の講義、優良民間事業者との意見交換、市町村森林経営管理事業のための森林施業
- ・ 経営管理権集積計画を自分で作成し、研修時に発表する課題は非常に良かった。やはり、自分で作成してみないと分からないため、事前の勉強になった。また、研修当日に様々な考え方を教えていただくことにより、より理解することができた
- ・ 市町村が担う役割が多く、その分責任が重大。だから県が支援をしていかなければならないが、実際現在の職は2年目であり、なかなか市町村の支援ができる程、林業についての知識が乏しいため、このような研修をしていただければすごく助かる
- ・ 経験が浅いのでその場でお話しされた内容が頭に「スーっ」と入ってこず、事前に資料に目を通していればもっと深く聞けたのかと思う
- ・ 意向調査から配分計画までの詳しい流れ（スケジュール）が分からなかった

Ⅲ 森林管理円滑化対策研修の評価

40点未満	(0 名)	
40点台	(0 名)	
50点台	(0 名)	
60点台	(0 名)	
70点台	(1 名)	公務時間外を研修で使う場合があった。スケジュール等の見直しが必要
80点台	(3 名)	参加者同士の交流議論がもう少しほしい
90点台	(6 名)	出席者は様々な立場、理解度のため、もう少し研修の時間がほしい
100点	(10 名)	

平均： 93 点

⑦森林経営管理制度円滑化対策研修 九州ブロック実施報告書

1 日程・研修場所 令和2年11月10日(火)～11月12日(木)
研修会場 宝山ホール(鹿児島県文化センター)(鹿児島県鹿児島市)

2 研修受講者数:14名 [男性:12名 女性:2名]
(県職員8名、市町村職員5名、国有林職員3名、有林職員団体職員2名)

福岡県	1名	佐賀県	1名	長崎県	2名	大分県	1名
熊本県	1名	宮崎県	2名	鹿児島県	6名		

3 研修実施概要

○予定どおり全カリキュラムを修了

○研修運営状況、研修生の様子など

・1日目、林野庁森林集積推進室から経営管理制度の概要についての講義があり、その後、受講者から意向調査の取組状況や経営管理権集積計画の作成についての発表があり、意見交換が行われた。

・2日目、制度運用のための優良民間事業者との意見交換((有)田中林業)では、会社の行動指針を基に森林経営管理制度やSDGsへの取り組みを行っていることの説明がなされた。先進市町村の取組事例では、鹿児島市からは、森林経営管理制度の取組実績、さらに令和3年度に向けての方向性について説明がなされ、加えて鹿児島県森林組合連合会から鹿児島市への支援の取り組み及び森林経営管理市町村サポートセンターからセンターの概要と取組状況について説明がなされた。

・3日目、森林総合研究所から森林管理をしていく上での考え方などについて講義があった。また、森林集積推進室から筆界推定にかかる手法などについて講義がなされた。



制度運用のための優良民間事業者との意見交換((有)田中林業)



先進市町村の取組事例(森林経営管理市町村サポートセンター)

○今回の研修で工夫したこと

[工夫点]

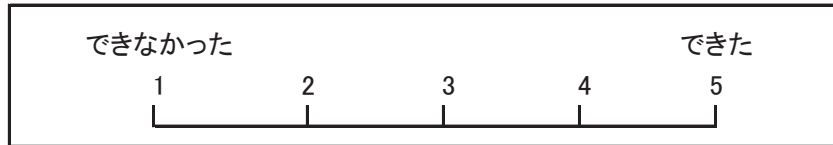
・広い会議室を使用し、研修会場への入室時には消毒液の設置による手指消毒や非接触型体温計による体温測定を行い、さらにアクリル板の設置、一人掛けの座席配置、マスクの着用、講師・進行のフェイスシールド着用等のコロナウィルス感染予防対策を講じた上で開催した。

森林管理円滑化対策研修(ブロック研修) 九州ブロック アンケート集計結果

回収率： 13 名 / 14 名 (93%)

I 本研修のねらい・内容をそれぞれの程度理解できましたか？

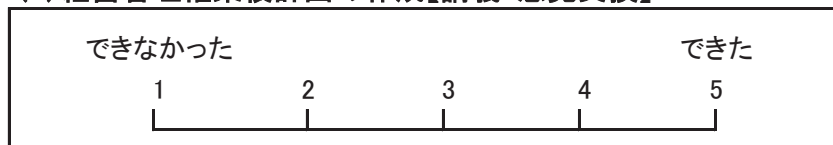
(1) 森林経営管理制度の概要と現状【講義】



平均：4.5

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (1 名) 各地域の事例紹介が参考になった
- 4 (4 名) 譲与税の用途についての考え方など参考になった
- 5 (8 名) 法令や現地の声に詳しく理解の幅が広がった／質問への林野庁回答が業務に役立つ

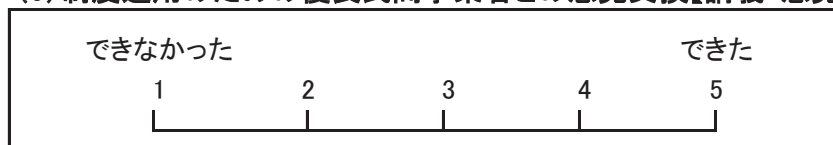
(2) 経営管理権集積計画の作成【講義・意見交換】



平均：4.2

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (3 名) 他の自治体の事業の進め方を詳しく交換できれば良かった
- 4 (5 名) 直接事務に携わった市町の担当の方の話が特に参考となった
- 5 (5 名) 他市町のやり方が分かり、内容をよく調べて取り入れていきたい

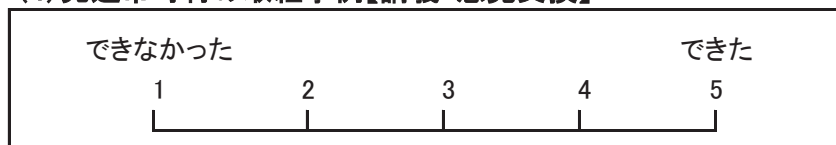
(3) 制度運用のための優良民間事業者との意見交換【講義・意見交換】



平均：4.6

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (0 名)
- 4 (5 名) 安全管理、現場管理の取組方法を地元で普及したい／人材育成の大切さが分かった
- 5 (8 名) 事業体育成に役立てたい／経営理念が素晴らしかった

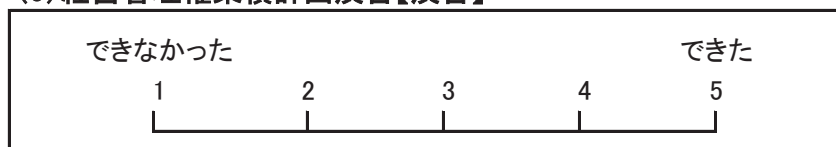
(4) 先進市町村の取組事例【講義・意見交換】



平均：4.4

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (2 名) 鹿児島県のサポートが分かって良かった
- 4 (4 名) 市、県森林組合連合会、市町村サポートセンターの連携が取れている
- 5 (7 名) 市町、県、関係団体の連携の重要性を改めて感じた

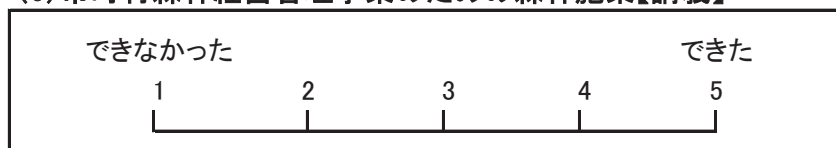
(5) 経営管理権集積計画演習【演習】



平均：3.8

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (6 名) ポイントについて後でしっかり見直しておきたい
- 4 (3 名) 集積計画作成に当たり、基本的な考え方が理解できた
- 5 (3 名) 色々な考え方を聞くことができ参考になった

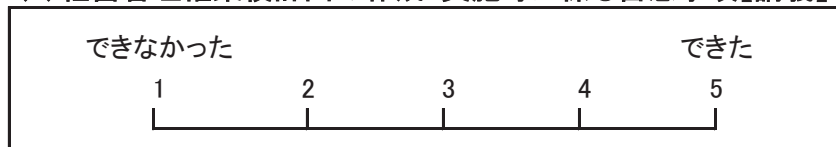
(6) 市町村森林経営管理事業のための森林施業【講義】



平均：4.2

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (3 名) 複層林化がいかに大変な施業であるかを痛感した
- 4 (4 名) 天然更新も難しいのだと認識できた。計画地選定について市町と共に考えていきたい
- 5 (6 名) 針広混交林への誘導の困難さを理解／人工林→複層林化の難しさ

(7) 経営管理権集積計画の作成・実施等に係る留意事項【講義】



平均：4.5

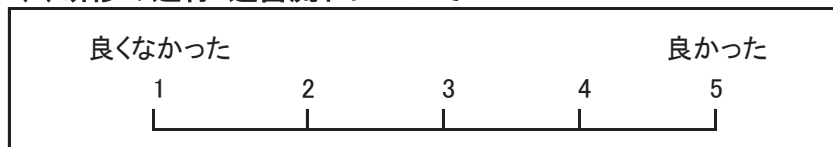
- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (2 名) 制度が多く難しいと思ったが、有効な手段は活用していけるよう、勉強していきたい
- 4 (2 名) 境界についてはよく懸案ともなるので今後参考にしたい
- 5 (7 名) 意向調査後の実務の進め方が分かった／関連する法改正の話まで聞け有意義だった

IV 研修の進行・運営、研修設備等に関する評価

(1) 研修に係る事務局からの事前連絡等は十分できていましたか？

- 1 : できていた (12 名)
- 2 : できていない (0 名)

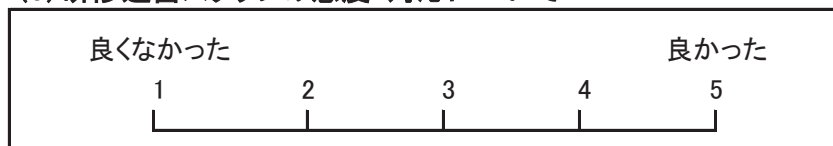
(2) 研修の進行・運営流れについて



平均: 3.9

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (3 名) 集積計画作成の演習方法は見直しが必要
- 4 (8 名) 時間オーバーがあったが、それ以外は良かった
- 5 (2 名)

(3) 研修運営スタッフの態度・対応について



平均: 4.5

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (1 名)
- 4 (5 名) 大変丁寧な態度・対応だった
- 5 (7 名) 大変快適に受講できた／親切で良かった

(4) 今後、どのようなサポートや研修等があったら良いとお考えですか？

- ・ 手探り状態は皆同じかと思うので、今後も研修等を通じ、情報共有しながら地域の森林経営、整備が進めていければと思う
- ・ 各市町村で色々な進め方が出てくると考えられるので、先進的な事例などを紹介して、自分の地域に合ったやり方を考えることができる研修
- ・ 当制度の具体的対応事例
- ・ 市町村毎の森林所有者状況等に則した研修及びサポート
- ・ 自治体を対象とした研修（林野庁からの）もあると良い
- ・ 市町村森林経営管理事業の取り組み方（設計書の作り方、検査等）について受講してみたい
- ・ 混交林化、複層林化を目指す上で稚樹の確保が重要とのこと、伐採の安全確保との兼ね合いもあり、作業方法の指導方法を考える必要があると思うため、その研修等があったら良い
- ・ 意見交換の場を増やしてほしい
- ・ Webシステムによる受講

(5)その他、自由に感想をお聞かせ下さい。

(研修の中で特に印象に残った講義があれば教えて下さい。)

- ・ 市町村森林経営管理事業のための森林施業の講義が印象に残った。ただ、森林経営管理事業の中で取り組み事項を示して頂きたかった
- ・ 林野庁の講義、話し方が分かりやすかった
- ・ 制度を作った林野庁の方々のお話しやつながりができて良かった
- ・ 直接林野庁の考えが聞けて非常に良かった
- ・ 皆様の熱意が伝わった。有難かった

Ⅲ 森林管理円滑化対策研修の評価

40点未満	(0 名)	
40点台	(0 名)	
50点台	(0 名)	
60点台	(0 名)	
70点台	(0 名)	
80点台	(2 名)	資料は参考になるが、説明を受けていないものも多く、後で確認したい
90点台	(6 名)	課題解決演習において意見交換ができれば良かった
100点	(3 名)	大変有意義だった

平均： 92 点

VI. アンケートからみる研修の成果

1. アンケート結果の概要

(1) 評価アンケート調査結果

アンケートは受講生全員を対象とし、研修成果の確認と今後のカリキュラムの検討・研修運営に役立てることを目的に実施した（70頁／アンケートの雛形）。主に各科目の理解度、研修の進行・運営、設備等に対する評価、研修の評価について、集計結果を取りまとめた。アンケートの回収率は、92%（受講者数132名、回答総数は122名*）。

*研修の一部を欠席した受講者がいるため、回答総数とアンケート各項目の回答者数とは異なる。

(2) 本研修のねらい・内容の理解度

アンケートは、1（理解できなかった）から5（理解できた）までの5段階評価で実施した。

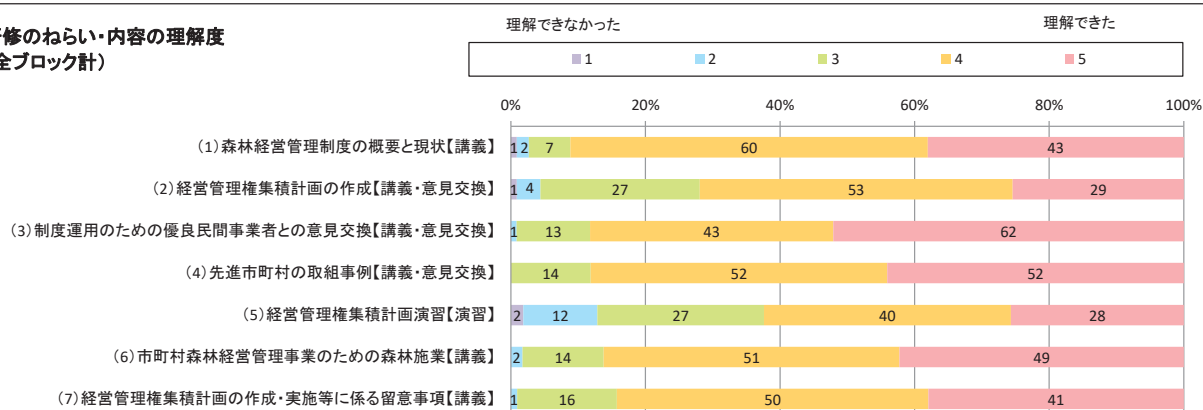
各講義の内容の理解度では4（おおむね理解できた）が最も多く、次いで5（理解できた）の評価で、受講生の理解度は高く、研修のねらいや目的に応じた成果が得られたと考えられる。

各コマの理解度5と4の割合は、62～91%と総じて高い結果となった。

研修のねらい・内容の理解度 （全ブロック計）

	理解度の評価					平均	回答者数	4、5の割合(%)	5の割合(%)
	1	2	3	4	5				
(1) 森林経営管理制度の概要と現状【講義】	1	2	7	60	43	4.3	113	91	38
(2) 経営管理権集積計画の作成【講義・意見交換】	1	4	27	53	29	3.9	114	72	25
(3) 制度運用のための優良民間事業者との意見交換【講義・意見交換】	0	1	13	43	62	4.4	119	88	52
(4) 先進市町村の取組事例【講義・意見交換】	0	0	14	52	52	4.3	118	88	44
(5) 経営管理権集積計画演習【演習】	2	12	27	40	28	3.7	109	62	26
(6) 市町村森林経営管理事業のための森林施業【講義】	0	2	14	51	49	4.3	116	86	42
(7) 経営管理権集積計画の作成・実施等に係る留意事項【講義】	0	1	16	50	41	4.2	108	84	38

研修のねらい・内容の理解度 （全ブロック計）



「森林経営管理制度の概要と現状」【講義】

初日に実施した「森林経営管理制度の概要と現状」【講義】は、理解度5と4の割合が91%と最も高くなった。「森林経営管理制度の運用方法について最新の考えを知ることができた」といった制度への理解が深まったというコメントや、「制度の基礎的な部分を細かい点まで改めて学ぶことができた」といった制度を再確認できたというコメントが見られた。このことは、全ブロック共通の研修資料に加えて、受講生が事前課題として提出した森林経営管理制度の全般に係る質問に対する回答集をブロックごとに作成し、配布資料として講義を進めたことが、理解度評価の高さにつながった要因の一つと考えられる。

「経営管理権集積計画の作成」【講義・意見交換】

初日2コマ目の「経営管理権集積計画の作成」【講義・意見交換】は、理解度5と4の割合が72%となった。「直接事務に携わった市町の担当者の話が特に参考となった」「意向調査の考え方やコツについて理解が深まった」といった具体的なコメントからは、市町村を支援するための知見を広げ、応用力を養うという本研修のねらいに沿った講義であったと考えられる。一方で、理解度3と評価した研修生からは「意見質問の時間をもっととってほしい」「基礎的な事項を理解できるように知識を深めたい」とのコメントが見られた。

「制度運用のための優良民間事業者との意見交換」【講義・意見交換】

2日目「制度運用のための優良民間事業者との意見交換」【講義・意見交換】については、理解度5と4の割合が88%、5の割合については52%と研修の講義の中で最も高い理解度となった。「森林経営管理制度に対する熱意を感じることができた」「従業員確保、森林所有者への利益還元確保の内情が分かった」などのコメントから、制度に適合する民間事業者のイメージを掴むという講義目的にかなった講義となったことが伺える。一方で、理解度2と評価した研修生の「制度に関する取組がなく、今回の研修にそぐわないと思った」とのコメントからは、講義の意図を研修生に伝えることの難しさが示された。

「先進市町村の取組事例」【講義・意見交換】

「先進市町村の取組事例」【講義・意見交換】については、理解度5と4の割合が88%、5の割合については44%と高い理解度となった。コメントには、「意向調査をコンサルに委託した内容が参考になった」「アドバイザーと市との連携の重要性、有意性がよく理解できた」等が記載され、研修生が制度を推し進める上で講義の具体的なポイントが参考となったことが伺えた。

「経営管理権集積計画演習」【演習】

2日目午後「経営管理権集積計画演習」【演習】については、理解度5と4の割合が62%、理解度の平均も3.7と研修の講義の中で最も低い数値となった。コメントには「自らが考えた集積計画に対する添削・指導を直接いただけたことは大きな収穫だった」「集積計画を考える様々なヒントを得ることができた」「集積計画を立てるにも画一的な考えで無くてもよいと分かった」といった記載が見られた。このことから、受講生が事前課題を作成したことで生じた不明事項が、講義の質疑、林野庁からのアドバイスによって、一部解消され、修正計画への理解が深まったことが伺える。

「市町村森林経営管理事業のための森林施業」【講義】

3日目「市町村森林経営管理事業のための森林施業」【講義】については、理解度5と4の割合が86%となった。「天然更新の難しさを知ることができた」「天然更新完了基準を基本として考えていたがそれだけでは難しいことが分かった」等の天然更新の難しさを改めて認識したというコメン

トや、それゆえに「計画地の選定について市町と共に考えて行きたい」等の市町の経営管理の具体的な進め方に言及するコメントも見られた。

(3)全体評価

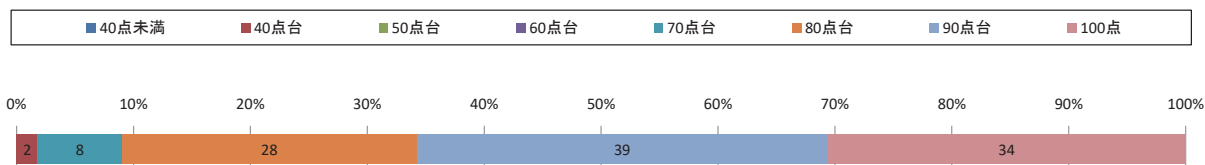
研修全体の評価については、100点満点での評価を実施した。

研修の評価は、平均点が100点満点中89点で、全体の9割が80点台以上をつけ、高評価と見て良いと考える。しかしながら「研修の時間が十分でなく、駆け足で進んでしまったところがある」等、研修の時間不足を指摘する意見が多く寄せられ、カリキュラム内容と各コマの時間配分について検討・調整が必要である。また、「研修生間での意見交換がもう少しできたらよかった」「他県と全く話ができてなくて残念」という意見も多く寄せられた。コロナウイルス感染予防を第一に考え、密を避け、意見交換の場を制限した研修ではあったが、集合研修の大きな意義である他の研修生との意見交換ができるような工夫・検討が必要である。

森林経営管理制度円滑化対策研修の評価(100点満点で記載)

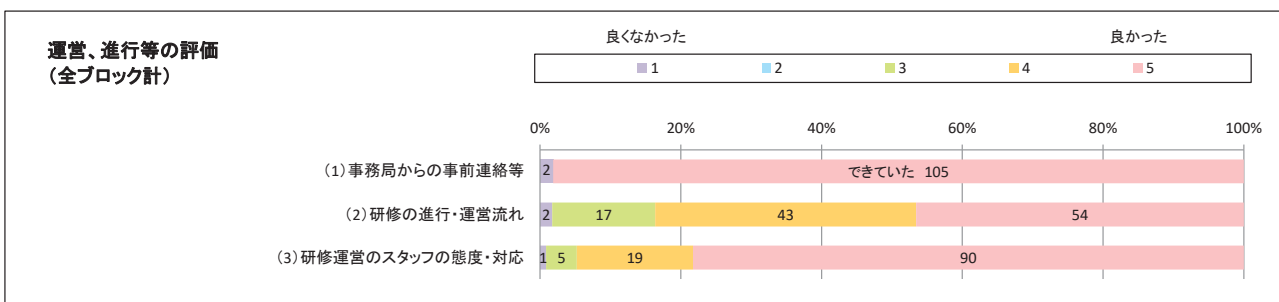
	北海道・東北	関東	中部・近畿①	中部・近畿②	西日本	四国	九州
40点未満	0	0	0	0	0	0	0
40点台	0	0	0	0	2	0	0
50点台	0	0	0	0	0	0	0
60点台	0	0	0	0	0	0	0
70点台	3	3	1	0	0	1	0
80点台	7	1	6	2	7	3	2
90点台	6	2	5	7	7	6	6
100点	5	3	4	7	2	10	3
各ブロック平均点	87	86	89	94	82	93	92
全ブロックの平均点	89						

森林経営管理制度円滑化対策研修の評価



(4) 研修の進行・運営、研修設備等に関する評価

運営、進行等の評価 (全ブロック計)	評価					平均	回答者数	4、5の割合(%)	5の割合(%)
	1	2	3	4	5				
(1) 事務局からの事前連絡等				2	105	5.0	107	—	—
(2) 研修の進行・運営流れ	2	0	17	43	54	4.3	116	84	47
(3) 研修運営のスタッフの態度・対応	1	0	5	19	90	4.7	115	95	78



研修の事前連絡

研修の事前連絡は、全回を通し、概ねできていたという評価であった。できていないという評価へのコメントは、事前課題のファイルの受け渡しに関することであり、研修生との連絡についてはより徹底が必要である。

進行・運営の流れ

進行・運営の流れについては、5 (良かった) と 4 (おおむね良かった) の評価が全体の 84% となった。「全体として時間が足りなかった」「時間オーバーが複数回あった」等のコメントが見られ、発表を伴う講義の際の発表時間と質疑の時間配分についての検討・調整が必要である。

研修運営のスタッフの態度・対応

研修運営のスタッフの態度・対応については、5 と 4 の評価が全体の 95% となり、評価が非常に高かった。運営スタッフの丁寧な対応等が評価されたことが受講生のコメントからも伺えた。

(5) 今後の必要なサポートや研修等について

今後、必要なサポートや研修等への要望については、全ブロックにおいて多くコメントが寄せられた。市町村担当者への研修の強化を望む記載が多く見られた。それ以外の要望等について、研修、講義内容、サポートに分けて次に記載する。

(研修)

- ・経営管理制度上、必要な事務の細かな研修(境界明確化、集積計画の作成などポイントを絞ったもの)
- ・意欲能力のある経営者の企画提案スキルアップ研修
- ・事業体育成のための研修(自らの森林を所有しない先進的な事業体の経営計画、皆伐、再生林の取組)

- ・市町村の取組状況の進捗に応じた研修
- ・優良事例とともに上手く進んでいない事例を紹介し、原因分析と対処方法を話し合う研修
- ・先進・優良事例のみを集めた研修
- ・先進事例地の現地研修等
- ・市、県、事業体のレベルを合わせた協議したい（市のみ、県のみ、事業体のみなど）
- ・事業体へ対する理解を深め、関係を構築できる内容の研修
- ・都道府県や市町村の担当レベルのグループ座談会
- ・務担当者として知っておくべき基礎知識の研修
- ・意向調査、集積計画、配分計画、市町村管理事業などの実例を一通り学習できる研修
- ・森林GISを活用するより具体的な内容の研修
- ・集積計画の実例をもとにした工夫や改善点などを共有する研修
- ・各地の集積計画や配分計画の実践について話し合う研修
- ・市町村ごとの森林所有者状況等に則した研修
- ・市町村森林経営管理事業の取り組み研修（設計書の作り方、検査等）
- ・針広混交林化、複層林化を目指す上で稚樹の確保、伐採の安全確保のための研修

（講義内容）

- ・経験年数に応じて内容を対応させる
- ・市町村を対象とした森林環境譲与税の使い方
- ・森林以外への森林環境譲与税の活用法、考え方など
- ・所得者不明土地に関する法整備の講義
- ・針広混交林化の方法について
- ・森林情報の扱い方（この情報を使えば経営に適する適さないの判断ができる等）。GIS活用方法
- ・失敗事例
- ・応対事例の講義
- ・制度に係る他部局（法律、土木など）横断的な講義
- ・QGISや森林クラウドを含む情報交換会
- ・事業費算定に関する演習
- ・意向調査地区選定に関する模擬演習

（サポート）

- ・研修資料（パワーポイントのデータ）共有
- ・各県より提出された事例書の手直しや共通の特に多い修正すべきところなどが記された資料
- ・県の支援制度
- ・現地検討会
- ・市町村向けの基礎からのサポート
- ・今後適時アップデートされた資料等が閲覧できる体制
- ・実際の意向調査票事例集
- ・集積計画作成時の技術的な助言
- ・制度の詳しい説明や国の動きを説明する場の設定

- ・ 森林経営管理制度の実施で浮き彫りになった内容・成果等の伝達
- ・ 研修のオンラインへの対応
- ・ 市町村ごとの森林所有者状況等に則したサポート

(6)その他、感想(研修の中で特に印象に残った講義)

印象に残った講義として、各ブロックともに実践者が講師となった「制度運用のための優良民間事業者との意見交換」【講義・意見交換】、「先進市町村の取組事例」【講義・意見交換】が多く上げられた。また、研修全体を通じた感想として、「林野庁講師の話を知ることができてよかった」等のコメントが多く見られた。新しい制度が地域に定着していく過程では、発信者から当事者に直接伝えることの意味が伺える。

Ⅶ. 研修の実施における課題と改善点

受講生間の情報交換等について

受講生に行ったアンケートでは、受講生の間で情報交換を行える場がほしいとの意見が多々見られた。このような意見は前年度の研修においても散見されたが、今年度の研修はコロナ禍の中での研修であり、研修時間外での情報交換も困難な状況であったことから、特にこのように感じた受講生が多かったと考えられる。

このような情報交換は集合方式の研修であるから可能となるものであり、研修時間内にも取り入れるような工夫も行ってきた。

受講生からは、受講生のみでグループをつくり情報交換等を行うとの意見も出されていたが、受講生のみでの情報交換、意見交換を行った場合には、その内容の是非を判断できる者がおらず、場合によっては不適切な方法が共有されるおそれもある。林野庁の担当官が参加する研修であるので、このグループに担当官に同席することも考えられるが、グループが多ければこれも困難となる。

このため、研修においては、受講生から特定の事柄について、他の受講生の地域での状況や取組について知りたいとの質問があった場合には、該当する受講生を指名して意見や情報提供を求める対応を行って来た。この方法であれば林野庁の担当官も全ての発言を把握でき、発言の中に不適切な部分について修正・指導できる。このような場を研修の中に意識的に設けることができれば、受講生の満足度を高めることが可能となる。

しかしながら、研修の時間は限られている。このため、講義のうち主として情報提供となるものについては予め録画して、集合研修の前にYouTubeで視聴してもらうことで、集合研修での受講生間の情報交換などの時間を確保することが可能となるのではないかと考えられる。

この場合、YouTubeでの視聴も研修の一貫であり、集合研修においてはYouTubeで視聴した講義についての質疑や意見交換を行うこととなる。

配布資料について

受講生に行ったアンケートでは、研修当日に配付した資料が充実していたという意見が見られた。次のようなコメントである。

- ・分かりやすくまとまった資料で説明して頂いたので理解しやすかった
- ・配布資料が分かりやすく充実しており受講できて良かった

一方で資料が充実しているがために、事前に配布してほしいという次の意見も聞かれた。

- ・講師資料がたくさんあり、事前に予習しておきたかった
- ・事前に資料に目を通していけばもっと深く聞けたのかと思う

このような意欲ある研修生に対応するために、講義資料は研修当日も配布するが、講義資料が調った時点で、事前に全研修生に対してオンラインストレージ等で講義資料を届ける方法が考えられる。

また資料については、次の意見も聞かれた。

- ・資料の綴り方が分かりにくかった

- ・配布資料の整理が不十分と思われる

このことについては、研修開始時のオリエンテーションで配付資料について説明を行い、また講義ごとに使用する資料を示す（ホワイトボードに記す）などで対応できると思われる。

